



平成29年度
事業概要
Outline of activities

発行所

愛知県赤十字血液センター
〒489-8555 愛知県瀬戸市南山口町539-3
TEL 0561-84-1131
<http://www.aichi.bc.jrc.or.jp/>

JAPANESE RED CROSS AICHI BLOOD CENTER
539-3 Minamiyamaguchi-cho Seto, AICHI JAPAN zip489-8555

平成30年8月31日発行



本誌は、再生紙を使用しております。



日本赤十字社

愛知県赤十字血液センター

ごあいさつ



愛知県の血液事業の推進につきましては、平素より県民の皆様をはじめ、愛知県、市町村、各献血推進団体および医療機関等の関係各位のご支援とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。この度、平成29年度の愛知県赤十字血液センターの事業概要を取りまとめましたので、ご報告申し上げます。

平成29年度の献血者数は延べ272,224人と前年度とほぼ同数でした。全国では延べ4,732,141人と前年度に比べて軽度の減少を示しましたが、これは血液製剤の安全性の向上並びに効率化を目指して400mL献血および血小板の分割採血を推進していることによる影響が大きいと考えます。また医療機関への総供給単位数は876,173単位でした。愛知県赤十字血液センターが担う血液製剤の供給については、平成25年度から愛知県と岐阜県の県境をまたいだ相互供給体制を敷いており、たとえば多治見市などには愛知センターから供給する一方、一宮市などには岐阜センターから供給しています。供給量については全国動向と同様に微減傾向となっておりますが、平成29年度も当血液センターでは血液製剤を各医療機関へ安定して供給できたものと考えております。

昨年度の概要にもご報告致しましたように、愛知県赤十字血液センターでは平成29年4月に献血ルームの再編を行いました。施設の老朽化のため刈谷献血ルーム、金山献血ルームを平成29年4月13日、16日にそれぞれ閉所いたしました。一方、平成29年4月20日には名古屋駅前「献血ルーム タワーズ20」の混雑緩和と利便性の向上を図るため、その拡張部分としてJRゲートタワー26階に「献血ルーム ゲートタワー26」を開設いたしました。おかげさまをもちまして新しいルームも多くの献血者にお越しいただき、軌道に乗って当地域の血液確保に大きく貢献しています。刈谷・金山両献血ルームでの献血にご協力いただきました献血者の皆様、刈谷市及び近隣市町村並びに金山地区の皆様方には長い間ご支援いただき深く感謝申し上げますとともに、「献血ルーム ゲートタワー26」の開設にご理解ご協力いただきました皆様方に深謝いたします。

日本赤十字社の2012年の推計では高齢患者数の増加により今後の血液供給量の不足が予測されていましたが、平成29年度に血液製剤の主な供給先医療機関へのアンケート調査を行い、将来需要予測の再検討を行った結果、大幅な血液不足は避けられる見通しとなりました。しかしながら、超少子高齢化による献血可能人口の減少は確実と予測されます。血液事業の目的は安全な血液製剤を過不足なく患者さんにお届けすることにありますので、各献血推進団体などとともに普及啓発活動を通じて、特に将来の献血を担っていただける若年層の献血者を増やすように努力しております。

愛知県赤十字血液センターでは今後も血液製剤の効率的な安定供給に努めてまいります。今後も皆様方のより一層のご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成30年9月
愛知県赤十字血液センター
所長 木下 朝博



Contents 目次

01 概要

Outline

事業内容	Main Activities	3
血液事業のながれ	Flow of Blood Services	4
血液のゆくえ/血液製剤一覧	Flow of Blood Products / List of Blood Products	5
献血バス	Blood Donation Bus	7
献血ルーム	Blood Donation Room	8
施設	Facilities	9
供給	Supply	11
広域需給体制に伴う 県境を越える供給	Supplying across prefectual boundaries due to wide-area supply and demand regime	12
平成29年度医薬情報活動	Pharmaceutical information activities	13
骨髄バンク事業	Marrow Donor Program	14
広報活動	Public Relations	15

02 組織

Organization

組織機構図	Organization Chart	17
愛知県赤十字血液センター	Japanese Red Cross Aichi Blood Center	18
愛知県赤十字血液センター 豊橋事業所	Japanese Red Cross Aichi Blood Center Toyohashi Branch	18

03 活動実績

Actual result

献血功労表彰	Recognition	19
平成29年度日誌	Diary	21
沿革	History	23
推移	Transition	25
献血者数 情報と推移	Number of blood donors	27
複数回献血クラブ	Multiple blood donation club	29

04 全国の血液センター

Blood Centers in Japan

概要

日本赤十字社の血液事業の一環として献血を推進し、輸血用血液の安定確保と供給などを行い、人命尊重に向けて多様な事業を展開しています。

血液を通して、人と人とを結んでいます。

血液センターでは、現代医療に欠かせない輸血用血液の供給をはじめ、血液に関するさまざまな事業を行っています。
血液を通して大切な命を守り、人と人とを結ぶ架け橋として日夜努めています。

事業内容 Main Activities

目的 基本理念 安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律(抜粋)
(平成25年12月13日改正)

総則(目的)

第一条 この法律は、血液製剤の安全性の向上、安定供給の確保及び適正な使用の推進のために必要な措置を講ずるとともに、人の血液の利用の適正及び献血者等の保護を図るために必要な規制を行うことにより、国民の保健衛生の向上に資することを目的とする。

(基本理念)

第三条 血液製剤は、その原料である血液の特性にかんがみ、その安全性の向上に常に配慮して、製造され、供給され、又は使用されなければならない。
2. 血液製剤は、国内自給(国内で使用する血液製剤が原則として国内で行われる献血により得られた血液を原料として製造されることをいう。以下同じ。)が確保されることを基本とするとともに、安定的に供給されるようにしなければならない。
3. 血液製剤は、献血により得られる血液を原料とする貴重なものであること、及びその原料である血液の特性にかんがみ、適正に使用されなければならない。
4. 国、地方公共団体その他の関係者は、この法律に基づく施策の策定及び実施に当たっては、公正の確保及び透明性の向上が図られるよう努めなければならない。

業務

日本赤十字社血液センター規則第3条-2により次の事業を行う。

- 1 献血者の確保及び献血の受入れ
- 2 血液製剤の供給
- 3 その他血液事業本部長が必要と認めた事業

以上の事業の他に血液を安定確保し、適時血液需要に対処するため、次の事業を行う。

- 1 複数回献血協力者確保事業の実施
- 2 献血者登録制度の推進
- 3 献血協賛企業活動推進事業の実施
- 4 Rh(-)友の会事務局
- 5 献血セミナー・施設見学の実施
- 6 献血啓発イベントの実施

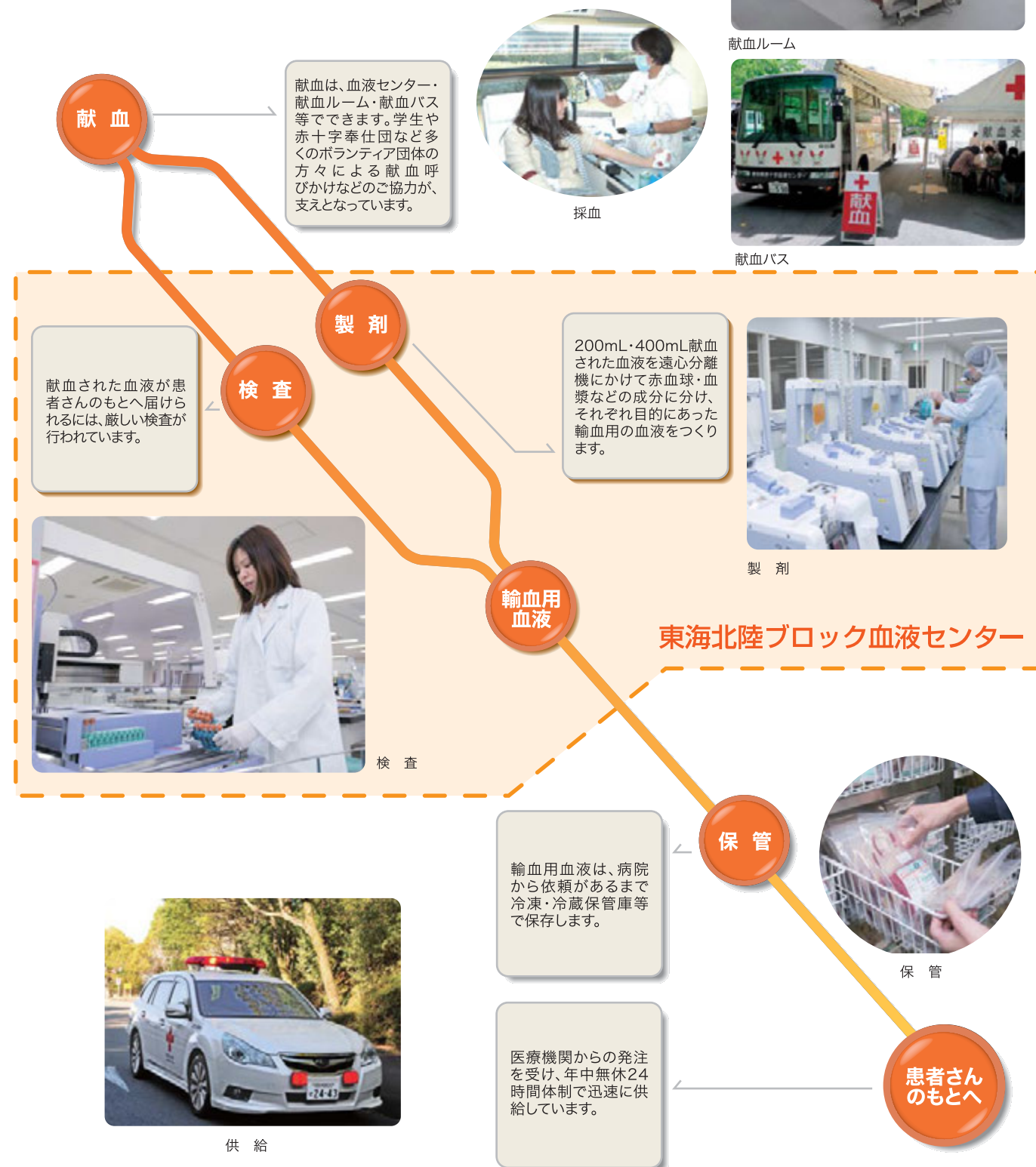
関連事業

- ・骨髄バンク事業
- ・さい帯血バンク事業

安全性の高い血液確保と安定供給に向けて。

善意の献血で得られた血液は、厳しい検査をはじめいくつもの行程を経て、輸血用血液として生まれ変わります。
私たちは、人命尊重のためにこの安全性の高い輸血用血液を医療機関に安定供給することを心がけ、24時間体制で医療を支えています。

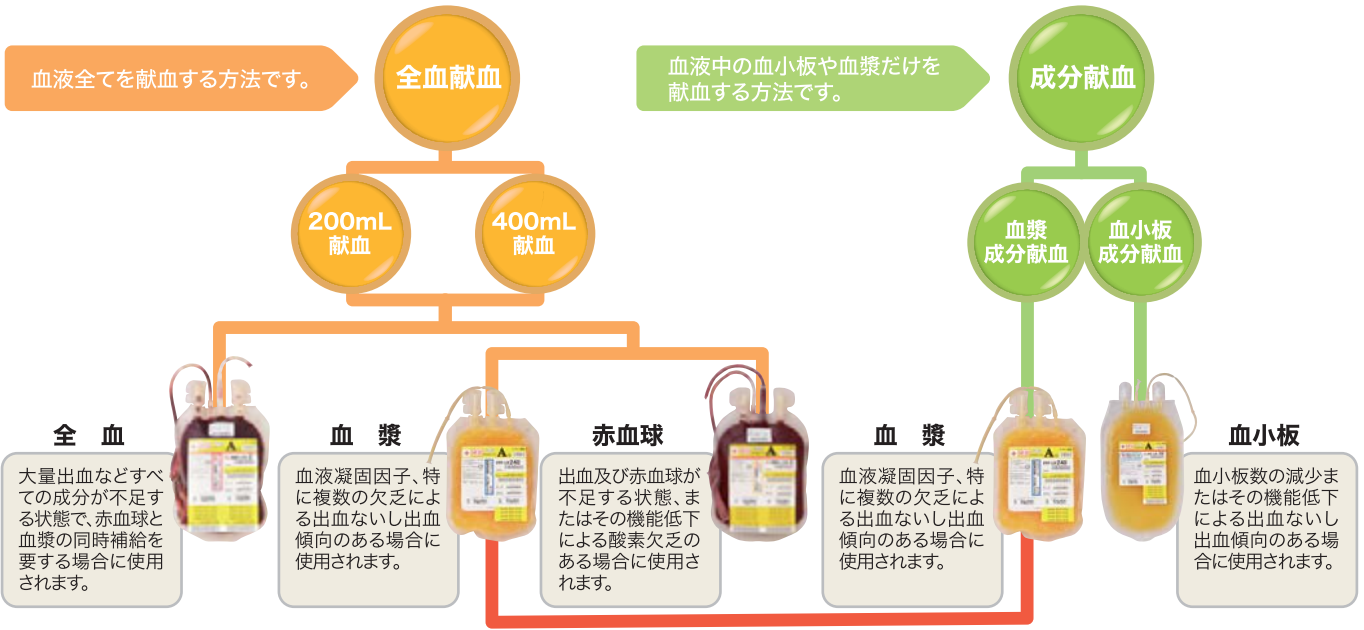
血液事業のながれ Flow of Blood Services



みなさまの善意に、よりお応えするために。

献血していただいた血液は、輸血用血液【全血・血液成分（赤血球、血漿、血小板）】として医療に使われています。
血液を必要としている患者さんにとって、安全性の高い血液を安定的にお届けするためには、健康なみなさまによる献血のご協力が必要です。

血液のゆくえ Flow of Blood Products



医療機関のニーズに合わせた血液製剤。

血液から作られる血液製剤は、輸血用血液として医療機関のニーズに合わせて、さらに細かく分類され、患者さんの生命を守っています。

血液製剤一覧 List of Blood Products

輸血用血液一覧

規制区分：特定生物由来製品、処方せん医薬品（医師等の処方せんにより使用すること） 採血国「日本」、採血の区別「献血」

	販売名（一般名 ^{*1} ）	略号	効能又は効果	貯法	有効期間	用法及び用量	組成・性状（概要）	包 装
全血製剤	人全血液-LR「日赤」 ^{*2} Ⓢ（人全血液）	WB-LR	一般の輸血適応症に用いる。		採血後 21日間	ろ過装置を具備した輸血用器具を用いて、静脈内に必要量を輸注する。	血液保存液（CPD液）を28mL又は56mL混合したヒト血液200mL又は400mLから白血球の大部分を除去した濃赤色の液剤。	血液200mLに由来する血液量1袋
	照射人全血液-LR「日赤」 ^{*2} Ⓢ（人全血液）	Ir-WB-LR					血液保存液（CPD液）を28mL又は56mL混合したヒト血液200mL又は400mLから白血球の大部分を除去した濃赤色の液剤。 さらに、輸血によるGVHDを予防する目的で、15Gy以上50Gy以下の放射線が照射されている。	血液400mLに由来する血液量1袋
血液成分製剤	赤血球液-LR「日赤」 ^{*2} （人赤血球液）	RBC-LR	血中赤血球不足又はその機能廃絶に適する。		採血後 21日間	ろ過装置を具備した輸血用器具を用いて、静脈内に必要量を輸注する。	血液保存液（CPD液）を28mL又は56mL混合したヒト血液200mL又は400mLから白血球及び血漿の大部分を除去した赤血球層に赤血球保存用添加液（MAP液）をそれぞれ約46mL、約92mL混和した濃赤色の液剤。	血液200mLに由来する赤血球1袋
	照射赤血球液-LR「日赤」 ^{*2} （人赤血球液）	Ir-RBC-LR					血液保存液（CPD液）を28mL又は56mL混合したヒト血液200mL又は400mLから白血球及び血漿の大部分を除去した赤血球層に赤血球保存用添加液（MAP液）をそれぞれ約46mL、約92mL混和した濃赤色の液剤。 さらに、輸血による移植片対宿主病（GVHD：graft versus host disease）を予防する目的で、15Gy以上50Gy以下の放射線が照射されている。	血液400mLに由来する赤血球1袋
	洗浄赤血球液-LR「日赤」 ^{*2} （洗浄人赤血球浮遊液）	WRC-LR	貧血症又は血漿成分などによる副作用を避ける場合の輸血に用いる。		製造後 48時間	ろ過装置を具備した輸血用器具を用いて、静脈内に必要量を輸注する。	ヒト血液200mL又は400mLから白血球及び血漿の大部分を除去した後、生理食塩液で洗浄した赤血球層に、生理食塩液をそれぞれ約45mL、約90mL加えた濃赤色の液剤。	血液200mLに由来する赤血球1袋
	照射洗浄赤血球液-LR「日赤」 ^{*2} （洗浄人赤血球浮遊液）	Ir-WRC-LR					ヒト血液200mL又は400mLから白血球及び血漿の大部分を除去した後、生理食塩液で洗浄した赤血球層に、生理食塩液をそれぞれ約45mL、約90mL加えた濃赤色の液剤。 さらに、輸血によるGVHDを予防する目的で、15Gy以上50Gy以下の放射線が照射されている。	血液400mLに由来する赤血球1袋

	販売名（一般名 ^{*1} ）	略号	効能又は効果	貯法	有効期間	用法及び用量	組成・性状（概要）	包 装
血液成分製剤	解凍赤血球液-LR「日赤」 ^{*2} （解凍人赤血球濃厚液）	FTRC-LR	貧血又は赤血球の機能低下に用いる。		製造後 4日間	ろ過装置を具備した輸血用器具を用いて、静脈内に必要量を輸注する。	ヒト血液200mL又は400mLから白血球及び血漿の大部分を除去した赤血球層に凍害保護液を加えて凍結保存したものを解凍後、凍害保護液を洗浄除去し、赤血球保存用添加液（MAP液）をそれぞれ約46mL、約92mL混和した濃赤色の液剤。	血液200mLに由来する赤血球1袋
	照射解凍赤血球液-LR「日赤」 ^{*2} （解凍人赤血球濃厚液）	Ir-FTRC-LR					ヒト血液200mL又は400mLから白血球及び血漿の大部分を除去した赤血球層に凍害保護液を加えて凍結保存したものを解凍後、凍害保護液を洗浄除去し、赤血球保存用添加液（MAP液）をそれぞれ約46mL、約92mL混和した濃赤色の液剤。 さらに、輸血によるGVHDを予防する目的で、15Gy以上50Gy以下の放射線が照射されている。	血液400mLに由来する赤血球1袋
	合成血液-LR「日赤」 ^{*2}	BET-LR	ABO血液型不適合による新生児溶血性疾患に用いる。		製造後 48時間	ろ過装置を具備した輸血用器具を用いて、静脈内に必要量を輸注する。	ヒト血液200mL又は400mLから白血球及び血漿の大部分を除去し、洗浄したO型の赤血球層に、白血球の大部分を除去したAB型のヒト血漿を約60mL又は約120mL加えた濃赤色の液剤。	血液200mLに由来する赤血球に血漿約60mLを混和した血液1袋
	照射合成血液-LR「日赤」 ^{*2}	Ir-BET-LR					ヒト血液200mL又は400mLから白血球及び血漿の大部分を除去し、洗浄したO型の赤血球層に、白血球の大部分を除去したAB型のヒト血漿を約60mL又は約120mL加えた濃赤色の液剤。 さらに、輸血によるGVHDを予防する目的で、15Gy以上50Gy以下の放射線が照射されている。	血液400mLに由来する赤血球に血漿約120mLを混和した血液1袋
血液成分製剤	新鮮凍結血漿-LR「日赤」120 ^{*2} （新鮮凍結人血漿） 全血採血由来製剤	FFP-LR120	1.血液凝固因子の補充 （1）複合性凝固障害で、出血、出血傾向のある患者又は手術を行う患者 （2）血液凝固因子の減少症又は欠乏症における出血時で、特定の血液凝固因子製剤がないか又は血液凝固因子が特定できない場合		採血後 1年間	容器のまま30～37℃で融解し、融解後3時間以内にろ過装置を具備した輸血用器具を用いて、静脈内に必要量を輸注する。通常、使用量は1日200～400mL、重篤（ショック、敗血症など）の場合は800mLまでを基準とする。ただし、年齢及び症状に応じて適宜増減する。	血液保存液（CPD液）を28mL又は56mL混合したヒト血液200mL又は400mLから白血球の大部分を除去し分離した新鮮な血漿を凍結したもので、融解すると黄色ないし黄褐色の液剤。	血液200mL相当に由来する血漿1袋
	新鮮凍結血漿-LR「日赤」240 ^{*2} （新鮮凍結人血漿） 全血採血由来製剤	FFP-LR240					血液成分採血により白血球の大部分を除去して採取した新鮮な血漿を凍結したもので、融解すると黄色ないし黄褐色の液剤。	血液400mL相当に由来する血漿1袋
	新鮮凍結血漿-LR「日赤」480 ^{*2} （新鮮凍結人血漿） 成分採血由来製剤	FFP-LR-480					血液成分採血により白血球の大部分を除去して採取した新鮮な血漿を凍結したもので、融解すると黄色ないし黄褐色の液剤。	480mL 1袋
血液成分製剤	濃厚血小板-LR「日赤」 ^{*2} （人血小板濃厚液）	PC-LR	血小板減少症を伴う疾患に適応する。		採血後 4日間	ろ過装置を具備した輸血用器具を用いて、静脈内に必要量を輸注する。	血漿に浮遊した血小板で、血液成分採血により白血球の大部分を除去して採取した黄色ないし黄褐色の液剤。	1単位 約 20mL 1袋 2単位 約 40mL 1袋 5単位 約100mL 1袋
	照射濃厚血小板-LR「日赤」 ^{*2} （人血小板濃厚液）	Ir-PC-LR					血漿に浮遊した血小板で、血液成分採血により白血球の大部分を除去して採取した黄色ないし黄褐色の液剤。 さらに、輸血によるGVHDを予防する目的で、15Gy以上50Gy以下の放射線が照射されている。	10単位 約200mL 1袋 15単位 約250mL 1袋 20単位 約250mL 1袋
血液成分製剤	濃厚血小板HLA-LR「日赤」 ^{*2} （人血小板濃厚液）	PC-HLA-LR	血小板減少症を伴う疾患で、抗HLA抗体を有するため通常の血小板製剤では効果がみられない場合に適応する。		採血後 4日間	ろ過装置を具備した輸血用器具を用いて、静脈内に必要量を輸注する。	血漿に浮遊した血小板で、患者のHLA型に適合する（供血者のリンパ球と患者の血清との交差試験に適合する）献血者から血液成分採血により白血球の大部分を除去して採取した黄色ないし黄褐色の液剤。	10単位 約200mL1袋 15単位 約250mL1袋
	照射濃厚血小板HLA-LR「日赤」 ^{*2} （人血小板濃厚液）	Ir-PC-HLA-LR					血漿に浮遊した血小板で、患者のHLA型に適合する（供血者のリンパ球と患者の血清との交差試験に適合する）献血者から血液成分採血により白血球の大部分を除去して採取した黄色ないし黄褐色の液剤。 さらに、輸血によるGVHDを予防する目的で、15Gy以上50Gy以下の放射線が照射されている。	20単位 約250mL1袋
	照射洗浄血小板-LR「日赤」 ^{*2} （人血小板濃厚液）	Ir-WPC-LR	血小板減少症を伴う疾患に適応する。		製造後 48時間 ただし、採血後 4日間を越えない	ろ過装置を具備した輸血用器具を用いて、静脈内に必要量を輸注する。	【Ir-WPC-LR】 血液成分採血により白血球の大部分を除去して採取した血小板濃厚液を、血小板保存液で洗浄し血漿の大部分を除去した後、同液に浮遊させた白色ないし黄白色の液剤。 さらに、輸血によるGVHDを予防する目的で、15Gy以上50Gy以下の放射線が照射されている。	10単位 約200mL1袋
	照射洗浄血小板HLA-LR「日赤」 ^{*2} （人血小板濃厚液）	Ir-WPC-HLA-LR	血小板減少症を伴う疾患で、抗HLA抗体を有するため通常の血小板製剤では効果がみられない場合に適応する。				【Ir-WPC-HLA-LR】 患者のHLA型に適合する（供血者のリンパ球と患者の血清との交差試験に適合する）献血者から血液成分採血により白血球の大部分を除去して採取した血小板濃厚液を、血小板保存液で洗浄し血漿の大部分を除去した後、同液に浮遊させた白色ないし黄白色の液剤。 さらに、輸血によるGVHDを予防する目的で、15Gy以上50Gy以下の放射線が照射されている。	

^{*1}: 人全血液の一般名は日本薬局方及び生物学的製剤基準収載名、それ以外の製剤の一般名は生物学的製剤基準収載名
^{*2}: 薬価基準収載名

ひとりでも多くの方のご協力をいただけるように。

愛知県内の様々な場所で献血バス・オープン献血を通じて、多くの方々に献血のお願いをしています。
また、駅周辺や商店街など、交通の便のよい場所に献血ルームを設け、献血いただく方が快適で、安心して献血が出来る環境を整えています。

献血バス Blood Donation Bus



■献血バス

献血バスは愛知県赤十字血液センターに8台、豊橋事業所に3台あり、本年度は1日平均5.4台稼働しています。
また、献血にご協力いただいている団体の一部施設を利用して行う、オープン献血も実施しております。
献血バス1台に4ベッドありますが、オープン献血の場合は会場のスペースによって4～15ベッド設置して採血をします。

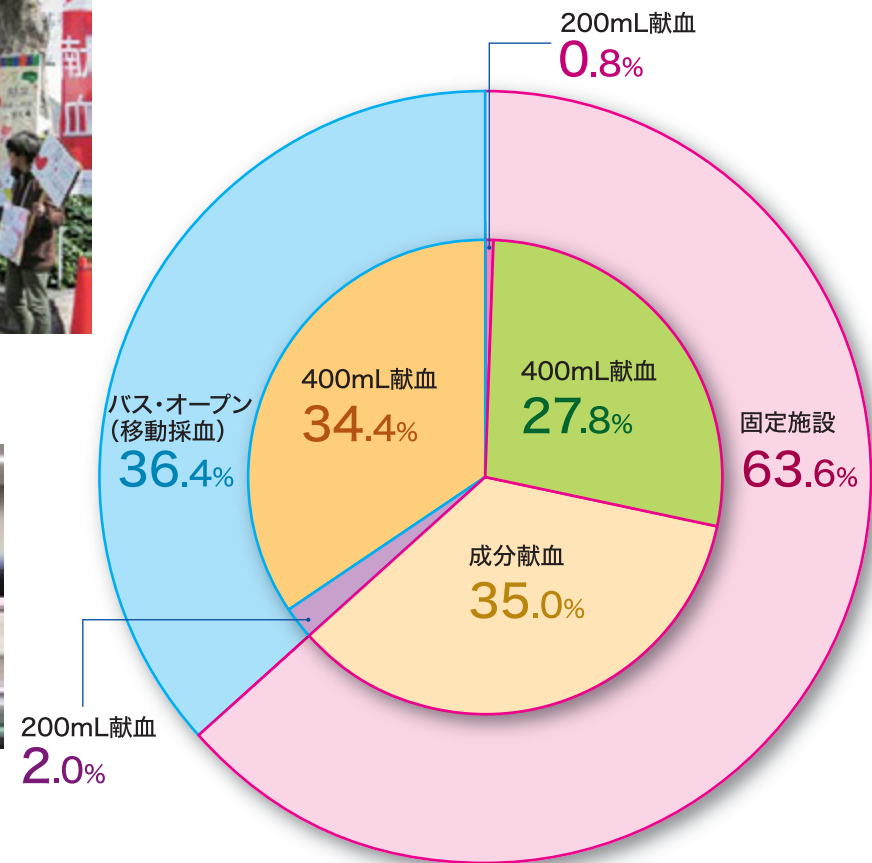
【平成29年度 採血実績】
献血バス 総稼働数 **1,965** 回(1日平均5.4回)
オープン献血 総稼働数 **94** 回
一台バス 平均採血数 **47** 名
オープン献血 平均採血数 **73** 名



■呼び掛けの風景



■オープン献血



固定施設&献血バス・オープン採血の採血割合

献血ルーム Blood Donation Room

愛知県下には血液センターをはじめ豊橋事業所並びに6カ所の献血ルームがあります。献血ルームでは無料の自動販売機で飲料水を提供し、お菓子なども用意しております。平成29年4月に金山献血ルーム・刈谷献血ルームが閉所となり、同月20日に名古屋駅JRゲートタワーの26階に献血ルーム ゲートタワー26が拡張オープンしました。



■献血ルーム (献血ルーム タワーズ20)



■献血室 (献血ルーム ゲートタワー26)



■献血ルーム ゲートタワー26 拡張オープンポスター

施設別採血種別採血数の推移

採血施設名		愛知県赤十字血液センター	豊橋事業所	献血ルームタワーズ20	献血ルームゲートタワー26	栄献血ルーム	金山献血ルーム	大須万松寺献血ルーム	豊田献血ルーム	刈谷献血ルーム	岡崎献血ルーム	移動献血バス+オープン
200mL	平成29年度	33	47	514	351	526	3	390	186	8	145	5,440
	平成28年度	15	28	585		244	136	50	157	67	75	6,718
	平成27年度	22	50	504		484	191	134	130	55	25	8,113
400mL	平成29年度	2,075	3,508	22,138	13,870	10,593	309	14,177	5,382	158	3,464	93,531
	平成28年度	2,151	3,543	23,204		9,534	8,393	14,295	5,393	3,788	3,060	95,529
	平成27年度	2,229	3,631	21,973		10,348	8,681	14,926	5,432	3,872	3,478	99,423
血漿	平成29年度	2,486	3,578	21,130	12,230	12,522	273	1,216	5,542	169	4,815	
	平成28年度	1,996	3,164	21,440		10,168	5,984	1,174	5,555	3,827	3,976	
	平成27年度	1,694	3,410	17,922		9,971	5,732	905	5,420	3,566	3,395	
血小板	平成29年度	1,459	2,753	9,267	4,025	6,504	181	332	3,434	163	3,297	
	平成28年度	1,626	2,918	13,018		6,610	3,632	498	3,450	2,884	3,034	
	平成27年度	1,597	3,113	14,005		7,069	4,026	675	3,733	2,965	3,336	
合計	平成29年度	6,053	9,886	53,049	30,476	30,145	766	16,115	14,544	498	11,721	98,971
	平成28年度	5,788	9,653	58,247		26,556	18,145	16,017	14,555	10,566	10,145	102,247
	平成27年度	5,542	10,204	54,404		27,872	18,630	16,640	14,715	10,458	10,234	107,536

※金山献血ルーム・刈谷献血ルームは平成29年4月に閉所

(人)

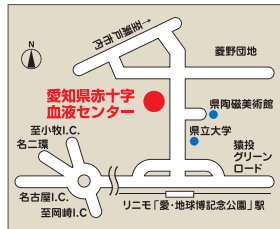
献血はお近くの施設でお気軽に。

愛知県下の献血施設8カ所は、どの施設も交通アクセス、周辺環境に恵まれています。
献血はあなたの街の最寄りの施設へお気軽にお出かけ下さい。最新の情報は、ホームページでご確認ください。

施設 Facilities (平成30年3月31日現在)

愛知県赤十字血液センター

〒489-8555 瀬戸市南山口町539-3
〈TEL〉0561(84)1131 〈定休日〉毎週土曜日、日曜日、祝日、12/29～1/3
〈献血受付時間〉400mL・200mL献血…9:00～12:00、13:00～16:45
成分献血…9:00～11:00、13:00～16:00



栄献血ルーム
(栄出張所)

大須万松寺献血ルーム
(大須出張所)

献血ルーム Towers 20
(名古屋駅前出張所)

献血ルーム ゲートタワー 26
(名古屋駅前出張所)

愛知県赤十字血液センター

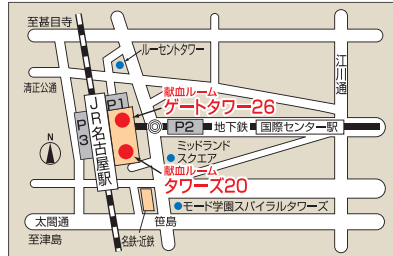
豊田献血ルーム
(豊田出張所)

岡崎献血ルーム
(岡崎出張所)

愛知県赤十字血液センター 豊橋事業所

献血ルーム Towers 20

〒450-6020 名古屋市中村区名駅一丁目1番4号 JRセントラルタワーズ20階
〈TEL〉052(571)1002 〈定休日〉12/29～1/3
〈献血受付時間〉400mL・200mL献血…10:00～17:45
成分献血…10:00～17:00
※土曜日は16:00までとなります。



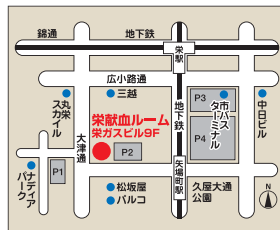
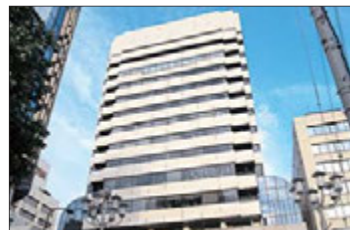
献血ルーム ゲートタワー 26

〒450-6626 名古屋市中村区名駅一丁目1番3号 JRゲートタワー26階
〈TEL〉052(589)2229 〈定休日〉12/29～1/3
〈献血受付時間〉400mL・200mL献血…11:00～18:45
成分献血…11:00～18:00
※土曜日は17:00までとなります。



栄献血ルーム

〒460-0008 名古屋市中区栄3-15-33 栄ガスビル9F
〈TEL〉052(242)7030 〈定休日〉12/29～1/3
〈献血受付時間〉400mL・200mL献血…10:00～17:45
成分献血…10:00～17:00
※土曜日は16:00までとなります。



大須万松寺献血ルーム

〒460-0011 名古屋市中区大須3-30-40 万松寺ビル1F
〈TEL〉052(251)7161 〈定休日〉12/29～1/3
〈献血受付時間〉400mL・200mL献血…11:00～13:00、14:00～18:45
11:00～18:45(土・日・祝日)
成分献血(平日のみ)…11:00～12:00、14:00～18:00

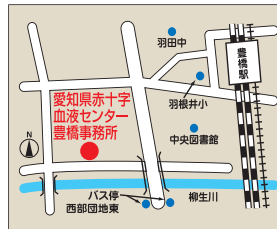


愛知県

管内面積／5,169.43km² (愛知県統計年鑑H30.3.26 現在)
管内人口／7,528,430人 (愛知県人口動向調査 H30.3.1 現在)
市町村数／38市14町2村 (H30.3.31 現在)

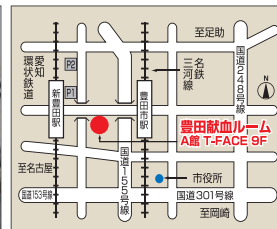
愛知県赤十字血液センター 豊橋事業所

〒441-8083 豊橋市東脇3-4-1
〈TEL〉0532(32)1331 〈定休日〉毎週日曜日、祝日、12/29～1/3
〈献血受付時間〉400mL・200mL献血…9:00～12:00、13:00～16:45
成分献血…9:00～11:00、13:00～16:00



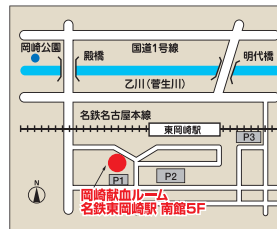
豊田献血ルーム

〒471-8520 豊田市若宮町1-57-1 A館 T-FACE 9F
〈TEL〉0565(35)4480 〈定休日〉毎週火曜日、12/29～1/3
〈献血受付時間〉400mL・200mL献血…10:00～13:00、14:00～17:45
成分献血…10:00～12:00、14:00～17:00
※土曜日は16:00までとなります。



岡崎献血ルーム

〒444-0864 岡崎市明大寺町字寺東1-1 名鉄東岡崎駅南館 5F
〈TEL〉0564(52)1800 〈定休日〉毎週金曜日、12/29～1/3
〈献血受付時間〉400mL・200mL献血…10:00～13:00、14:00～17:45
成分献血…10:00～12:00、14:00～17:00
※土曜日は16:00までとなります。



平成29年度献血ルーム詳細情報

(平成30年3月末時点)

	ベッド数(床)	面積(m ²)	開設日
愛知県赤十字血液センター	6		S62.3
豊橋事業所	9		H2.3
献血ルーム Towers 20	28	951.84	H23.10
献血ルーム ゲートタワー 26	18	525.72	H29.4
栄献血ルーム	18	447	H2.6
大須万松寺献血ルーム	5	179.76	H18.10
豊田献血ルーム	10	246.095	H9.4
岡崎献血ルーム	9	263.56	H15.5

※金山献血ルーム・刈谷献血ルームは平成29年4月に閉所

安全で安心の安定した迅速な供給に努めています

□ 供給 Supply

24時間365日、医療機関からの要請に対し、迅速に輸血用血液製剤を供給し、患者さんの命を守っています。
輸血用血液製剤の種類別・血液型別の過不足の調整、Rh(−)の血液型およびまれな血液型への対応について供給に支障をきたさないように全国規模で調整しております。



①血液製剤の受注

24時間体制で医療機関からの受注や血液製剤に関する問い合わせを受付しております。



③梱包作業

納品伝票と血液製剤の製造番号等の確認と血液製剤ごとに製品温度に適した状態で梱包します。



②血液製剤の出庫・外観確認

血液製剤に異常がないか最終チェックをします。



④配送

医療機関から「緊急」の要請があれば緊急走行で運びます。

平成29年度

緊急走行回数 **2,195回**(1日平均6回)

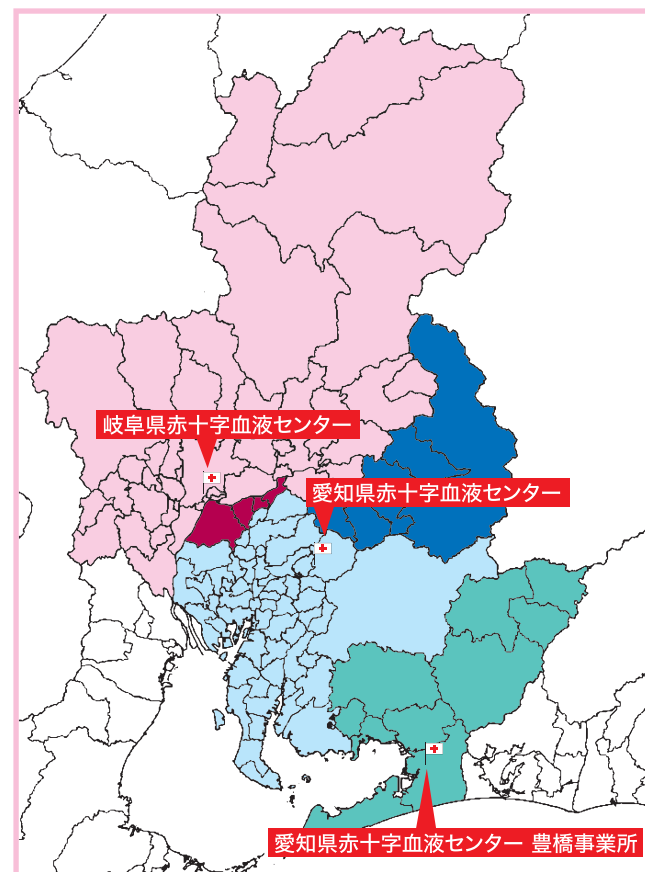
□ 広域需給体制に伴う県境を越える供給

Supplying across prefectural boundaries due to wide-area supply and demand regime

平成24年4月1日より広域事業運営へ移行し、東海北陸ブロック血液センターが設置されました。
それに伴い、供給エリア設定の検討調査を行い、平成25年4月1日より西尾張地域(一宮市・江南市・扶桑町・犬山市北部)を岐阜県赤十字血液センターから、東濃地域(多治見市・土岐市・瑞浪市・恵那市・中津川市)を愛知県赤十字血液センターから、供給を行うことに変更しました。
これにより、対象地域の医療機関への血液製剤配送時間の短縮が可能となりました。

供給エリア

- ・愛知県赤十字血液センター
- ・岐阜県赤十字血液センター
- ・愛知県赤十字血液センター 豊橋事業所



□ 平成29年度 供給実績 Supply results

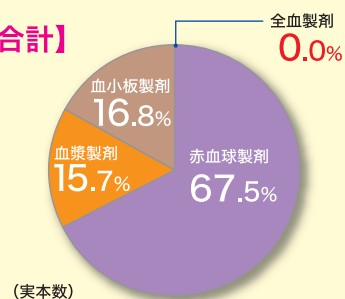
◆愛知県内の供給実績

【供給エリア】

	1単位製剤	2単位製剤	成 分					本数合計	換算本数
			4単位	5単位	10単位	15単位	20単位		
赤血球製剤	8,555	161,559	-	-	-	-	-	170,114	331,673
血漿製剤	1,038	17,315	21,183	-	-	-	-	39,536	120,400
血小板製剤	1	7	-	1,589	34,072	4,582	2,149	42,400	460,390
合 計	9,594	178,881	21,183	1,589	34,072	4,582	2,149	252,050	912,463

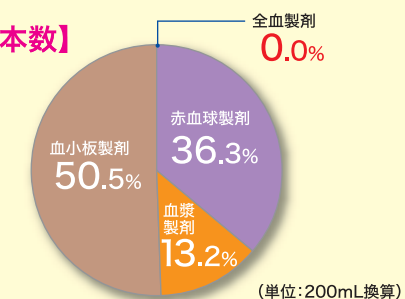
(単位:本)

【本数合計】



(実本数)

【換算本数】



(単位:200mL換算)

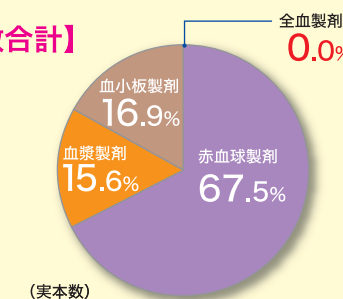
◆愛知県赤十字血液センターからの供給実績

【供給エリア】

	1単位製剤	2単位製剤	成 分					本数合計	換算本数
			4単位	5単位	10単位	15単位	20単位		
赤血球製剤	8,005	154,902	-	-	-	-	-	162,907	317,809
血漿製剤	1,057	16,187	20,432	-	-	-	-	37,676	115,159
血小板製剤	1	7	-	1,578	32,293	4,634	2,143	40,656	443,205
合 計	9,063	171,096	20,432	1,578	32,293	4,634	2,143	241,239	876,173

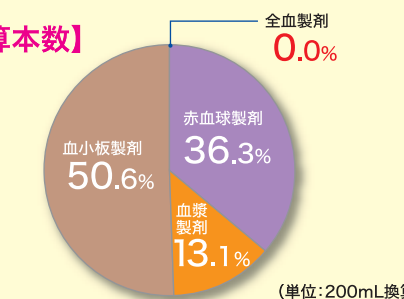
(単位:本)

【本数合計】



(実本数)

【換算本数】



(単位:200mL換算)

・他センターへの需給調整本数は含まない。

・単位換算数:赤血球製剤は200mL献血由来を1単位、400mL献血由来を2単位として換算したもの。

・血小板製剤は規格により、1単位、2単位、5単位、10単位、15単位、20単位として換算したもの。

・本年度の全血製剤の供給はありませんでした。

血漿製剤は200mL献血由来を1単位、400mL献血由来を2単位、成分献血由来を4単位として換算したもの。

□ 平成29年度医薬情報活動 Pharmaceutical information activities

- (1)医療機関への情報提供
- 輸血用血液製剤に関する情報提供について、下表のとおり情報媒体を愛知県赤十字血液センター供給管内医療機関へ配付しました。
- また、輸血管理部門担当者や医師・看護師等を対象とした説明会を行い、情報提供しました。

お知らせ	
発行年月	内 容
平成29年10月	「輸血用血液等の選及調査に関するガイドライン」(日赤GL)の改訂について
平成29年11月	輸血副作用・感染症における調査方法の変更のお知らせ

輸血情報	
発行年月	内 容
平成29年 5 月	「血液製剤の使用指針」の改定について
平成29年 7 月	輸血用血液製剤との関連性が高いと考えられた感染症症例 -2016年-
平成29年 7 月	赤十字血液センターに報告された非溶血性輸血副作用 -2016年-
平成29年12月	血小板製剤による細菌感染にご注意ください
平成30年 3 月	輸血関連急性肺障害 (TRALI) の評価・調査結果について
平成30年 3 月	E型肝炎ウイルス (HEV) 感染について

- (2)輸血副作用の情報収集
- 29施設83件(安全性情報 4施設13件)
- (3)選及調査の実施
- 複数回献血者の感染症マーカーの陽転化 118件 献血後情報 9件

- (4)中小医療機関の輸血検査への支援
- 医療機関に日本赤十字社 東海北陸ブロック血液センターの技術職員を派遣し、医療機関が日頃使用されている試薬・資材や機器を用いた方法による検査を提案させて頂き、問題解決に役立てて頂くことを目的とした、輸血検査スキルアップ講習を実施しました。

開催年月日	内 容	医療機関
平成29年9月 5 日	ABO血液型/Rh血液型/不規則抗体検査/抗原表の見方/交差適合試験/凝集反応態度の目合わせ	増子記念病院
平成30年1月17日	吸着熱解離試験/抗体解離試験/抗原表の見方	南生協病院

(5)輸血業務担当者連絡会の開催	
開催年月日	内 容
平成29年7月15日 (第1回)	「不規則抗体検査時の酵素法の実施について」「非溶血性輸血副作用の調査結果と今後の予定について」「緊急輸送について」
平成30年3月10日 (第2回)	「血液製剤の使用指針の改定について」「輸血副作用・感染症における調査方法変更のお知らせ」 「輸血情報1712-156 血小板製剤による細菌感染事例について」「E型肝炎ウイルス (HEV) 感染について」「発注要綱の変更について」 「血液センターでの血液型関連検査について」「日本赤十字社 東海北陸ブロック血液センター 製剤課からの情報提供」

- (6)医療機関での説明会の実施
- ・血液製剤の取り扱い/輸血副作用/輸血過誤について・・・ 43回
 - ・自己血について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2回
 - ・血液製剤の安全対策について・・・・・・・・・・・・ 1回
 - ・輸血副作用について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1回

骨髄バンク事業

骨髄バンク事業は、国(=厚生労働省)主導のもと、日本骨髄バンクが主体となり、日本赤十字社および地方自治体の協力により行われている公的事業です。日本骨髄バンクは骨髄移植・末梢血幹細胞移植のコーディネート等を行い、日本赤十字社は造血幹細胞提供支援機関として、ドナー登録及びHLA検査等を行っています。都道府県・保健所を設置する市・特別区は保健所を窓口として協力体制をとっています。



・平成27～29年度 骨髄バンク登録者数			
平成27年度	平成28年度	平成29年度	合計
997	1,298	1,338	3,633

・平成29年度 施設別骨髄バンク登録者数													
愛知県赤十字血液センター	栄献血ルーム	岡崎献血ルーム	大須献血ルーム	金 山 平成29年度 4月に閉所	刈 谷 平成29年度 4月に閉所	献血ルーム タワーズ20	献血ルーム ゲートタワー26 平成29年度4月に閉所	豊田献血ルーム	豊橋 事業所	移動採血 バス	保健所	合 計	
38	229	34	110	5	2	253	204	39	44	363	15	1,336	

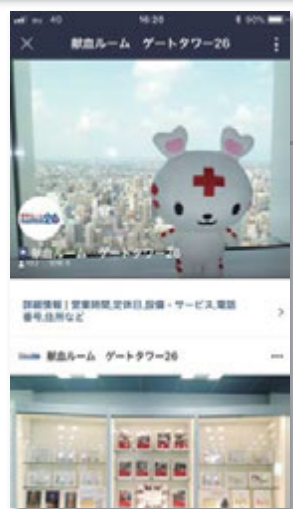
- ・骨髄提供希望者登録状況
- 愛知県 20,093人(平成30年3月31日現在)

愛知県の骨髄ドナー登録受付施設 (平成30年3月31日現在)		
名 称	電話番号	受 付 時 間
愛知県赤十字血液センター	0561-85-2037	月～金(祝日・12/29～1/3を除く) 9:00～11:00、13:30～16:00
愛知県赤十字血液センター豊橋事業所	0532-32-1331	月～土(祝日・12/29～1/3を除く) 9:00～11:00、13:30～16:00
献血ルーム タワーズ20	052-571-1002	年中無休(12/29～1/3を除く) 10:00～17:00
献血ルーム ゲートタワー26	052-589-2229	年中無休(12/29～1/3を除く) 11:00～18:00
栄献血ルーム	052-242-7030	年中無休(12/29～1/3を除く) 10:00～17:00
大須万松寺献血ルーム	052-251-7161	年中無休(12/29～1/3を除く) 11:00～12:00、14:30～18:00
豊田献血ルーム	0565-35-4480	水～月(12/29～1/3を除く) 10:00～12:00、14:30～17:00
岡崎献血ルーム	0564-52-1800	土～木(12/29～1/3を除く) 10:00～12:00、14:30～17:00
一宮保健所	0586-72-0321	水 10:00～11:00(予約制) (祝日、12/29～1/3を除く)
春日井保健所	0568-31-2189	火 10:00～15:00(予約制) (祝日、12/29～1/3を除く)
半田保健所	0569-21-3342	水 13:00～15:00(予約制) (祝日、12/29～1/3を除く)
衣浦東部保健所	0566-21-4778	火 9:00～11:00(予約制) (祝日、12/29～1/3を除く)
豊川保健所	0533-86-3177	火 9:00～11:00(予約制) (祝日、12/29～1/3を除く)

ひとりでも多くの方に、献血が身近になるように。

血液センターでは、広く献血にご協力いただくことと、血液事業について多くの人にご理解いただくことを目的に、さまざまな広報活動を展開しています。

□ 広報活動 Public Relations



ホームページの開設

血液センターのさまざまな情報を、ホームページを利用してお知らせしています。献血会場のご案内をはじめ、キャンペーンのお知らせや血液についての知識など、充実した内容で情報発信を行っています。
携帯電話、スマートフォンからもアクセスが可能で、手軽に知りたい情報をいつでも入手できます。ぜひ一度ご覧ください。

■ ホームページアドレス
<https://www.bs.jrc.or.jp/tkhr/aichi/>

フェイスブックの開設

フェイスブックを利用して、キャンペーンやイベントのお知らせをはじめ、献血に関する様々な情報を積極的かつリアルタイムにお伝えします。



■ 公式ページアドレス
<https://www.facebook.com/aichi.kenketsu>



献血ルーム ゲートタワー26専用LINEの開設

献血ルーム ゲートタワー26ではLINEを利用した広報活動をしています。イベントやキャンペーンなど様々な情報をお伝えしています。



キャンペーンイベントの開催

歌や演奏、クイズなど楽しいステージイベントを通して広く皆様に対して、献血の普及啓発を行っています。献血者が減少する時期にあわせて、年に数回開催。学生ボランティアが中心となって運営を行い、献血を盛り上げます。



夏休み親子血液教室

愛知県との共催で「親子で学ぶ 夏休み親子教室」を開催しています。血液についての講義や血液センターの見学、希望者を対象に血液型の判定を行います。親子でいのちや健康の大切さ、助け合いの大切さについて考える内容となっています。



血液センター見学会

献血に対する知識と理解を深めていただきたいことから、血液センター内の見学会を実施しています。
この見学会では、実際に製剤や検査の様子を見ていただき、献血された血液が輸血用血液に至るまでの工程を、わかりやすく説明しています。
毎年、多くの方がご来訪され、好評をいただいています。
見学会は予約が必要です。

お問い合わせ・お申込みは、企画課までお尋ねください。

血液・献血セミナー

小学校から大学、専門学校までの生徒・学生の皆様に献血のことを知ってもらい、身近に感じてもらうため、職員を派遣して「血液・献血セミナー」を行っています。講義やDVD鑑賞で、血液のこと、献血のことを学んでいただくとともに、いのちの大切さ、助け合うことの大切さを考える内容となっています。

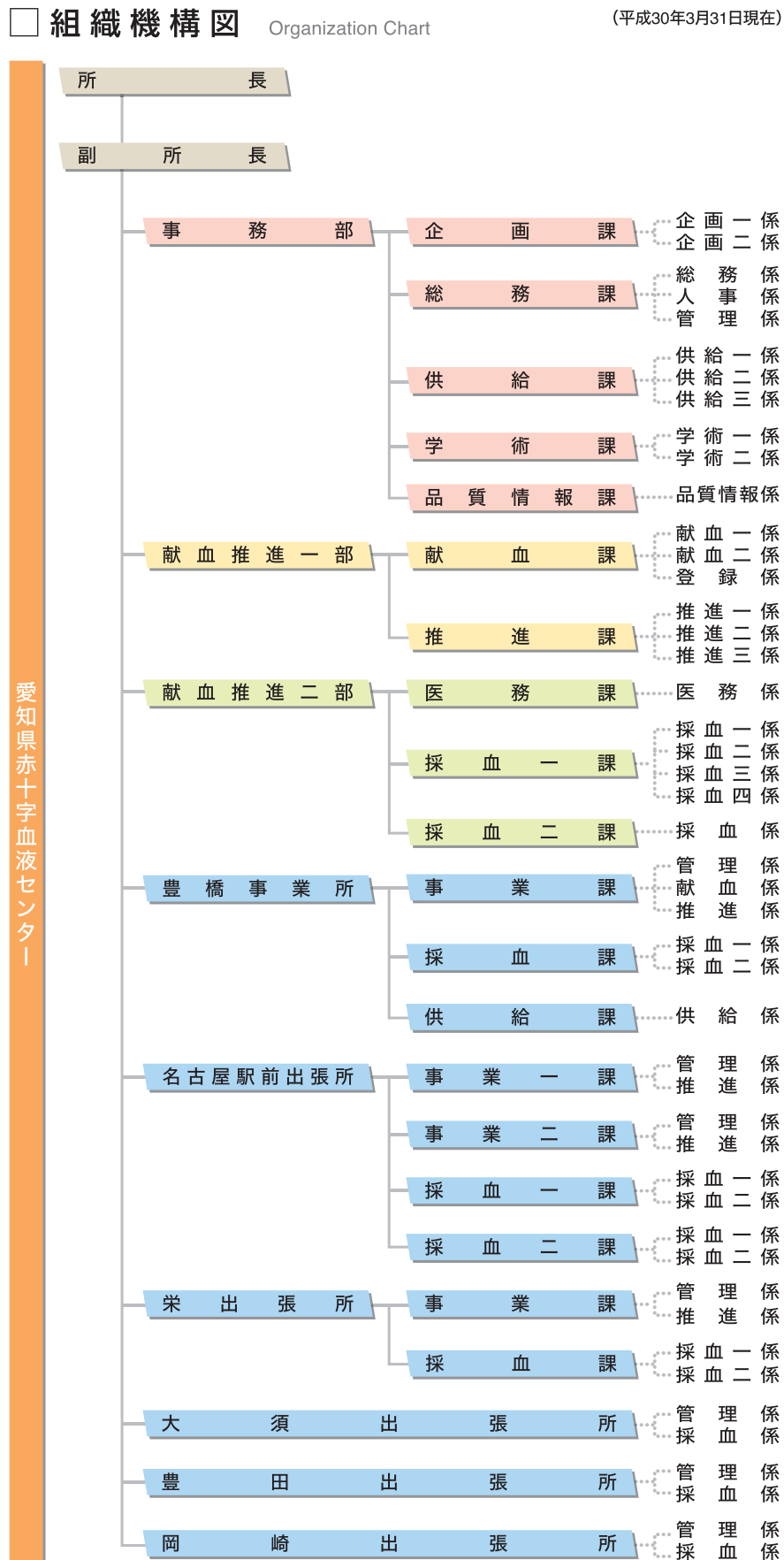


お問い合わせ・お申込みは、企画課までお尋ねください。

■ 愛知県赤十字血液センター企画課
TEL 0561-85-4283(直通)

組織

血液事業をより円滑に推進するためには、その体制づくりが重要なポイントになります。血液事業に直接関係する体制や施設・設備を充実するとともに、それをサポートする間接部門も重要視し、組織としての総合的な力を発揮しながら血液事業の現在と将来を常に見つめています。



愛知県赤十字血液センター Japanese Red Cross Aichi Blood Center (平成30年3月31日現在)

施設 Facility

所在地 瀬戸市南山口町539番地3

敷地面積 63,594.57m²

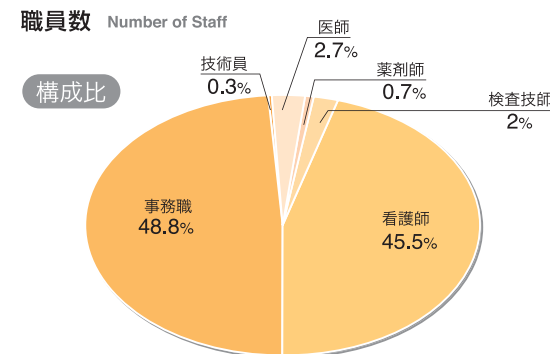
建物 (本館・北館)

構造 鉄筋コンクリート一部鉄骨造

地上4階・塔屋1階

延面積 9,783.21m²

付属建物 大型車庫、合併処理槽機械室



職種	医師	薬剤師	検査技師	看護師	事務職	技術員	計
人員	8	2	6	136	146	1	299
構成比< % >	2.7	0.7	2.0	45.5	48.8	0.3	100

車両台数 Number of Vehicle

献血バス	検診車	送迎車	広報車	献血運搬車	器材運搬車等	乗用車	計
8	3	4	3	31	1	12	62

愛知県赤十字血液センター 豊橋事業所 Japanese Red Cross Aichi Blood Center Toyohashi Branch (平成30年3月31日現在)

施設 Facility

所在地 豊橋市東脇三丁目4番地1

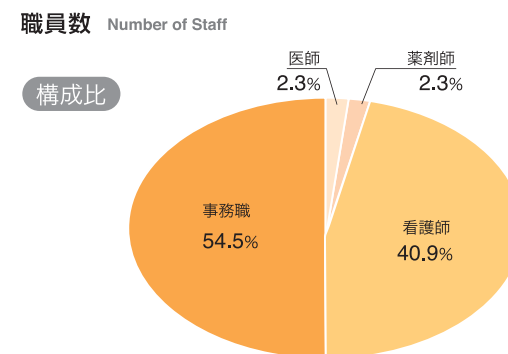
敷地面積 3,014.07m²

建物 構造 鉄筋コンクリート造

地上3階・塔屋1階

延面積 1,694.00m²

付属建物 車庫



職種	医師	薬剤師	看護師	事務職	計
人員	1	1	18	24	44
構成比< % >	2.3	2.3	40.9	54.5	100

車両台数 Number of Vehicle

献血バス	検診車	送迎車	献血運搬車	乗用車	計
3	1	0	8	1	13



Actual result

活動実績

時代の変化とともに、血液事業も変化しています。献血協力や医療機関のニーズに対応した活動を展開し、新しい歴史を積み重ねています。

血液事業に多くの功績があった個人・団体を表彰。

毎年献血に多大なご協力をいただいた皆様に感謝の気持ちを込めて表彰を行っています。平成29年度も多くの個人・団体の皆様にご協力をいただき功労表彰を授与させていただきました。血液事業は、こうした多くの方々に支えられています。

献血功労表彰 Recognition

厚生労働大臣表彰状	3団体
愛知産業大学工業高等学校	三菱重工業株式会社 岩塚工場
株式会社マキタ 岡崎工場	アイシンAW 蒲郡工場
立正佼成会 一宮教会	株式会社 ニデック
	株式会社 松尾製作所
	津島ライオンズクラブ
	布目電機株式会社 佐織工場

厚生労働大臣感謝状	11団体
愛知県食品衛生協会知多支部	○献血功労団体 11団体
株式会社中部	イオンモール株式会社 mozoワンダーシティ
株式会社ヨロズ愛知	イオンモール名古屋みなと
ゴムノイナギ株式会社	岡崎さくらライオンズクラブ
大日本印刷株式会社	春日井さくらライオンズクラブ
大和化成工業株式会社	特定非営利活動法人ボラみみより情報局
豊橋中ライオンズクラブ	献血チーム
日新製鋼株式会社ステンレス製造本部衣浦製造所	名古屋シニアライオンズクラブ
パナソニックエコシステムズ労働組合	Vタウン大口店
半田市赤十字奉仕団	ユニー株式会社 アビタ蒲郡店
マズプロ電工株式会社	ユニー株式会社 アビタ名古屋南店
	大府ライオンズクラブ
	刈谷市赤十字奉仕団

愛知県知事感謝状

○300回献血者 33名	○献血協力団体 23団体
アイシン機工株式会社 刈谷工場	アイシン精機株式会社 西尾工場
愛知淑徳大学 大学祭実行委員会	医療法人 桜桂会
安城学園高等学校	内浜化成株式会社
エヌティーテクノ株式会社	尾張東食品商業協同組合
学友会 愛知工業大学 大学祭実行委員会	株式会社三誘プレジジョン
株式会社ISOWA	株式会社野口製作所
株式会社アンレット	株式会社 豊幸
極東開発工業株式会社 名古屋工場	京ヶ峰岡田病院
佐川急便株式会社 本社(中部)	高蔵寺ニュータウンセンター開発株式会社
サンエイ糖化株式会社	CKD株式会社
新明工業株式会社	社会医療法人 志聖会 総合犬山中央病院
瀬戸市消防本部	名古屋記念病院
東久株式会社	特定非営利活動法人 春日井明るい社会づくりの会
豊田市公設地方卸売市場協会	幡豆工業株式会社
名古屋女子大学 大学祭実行委員会	フタバ産業株式会社 本社・岡崎工場
BX紅雲株式会社	村田機械株式会社 犬山事業所
ホーユー株式会社 生産・物流本部	

日本赤十字社表彰

○日本赤十字社社長感謝状(30年以上) 16団体
アイシン精機株式会社 西尾工場
医療法人 桜桂会
内浜化成株式会社
尾張東食品商業協同組合
株式会社三誘プレジジョン
株式会社野口製作所
株式会社 豊幸
京ヶ峰岡田病院
高蔵寺ニュータウンセンター開発株式会社
CKD株式会社
社会医療法人 志聖会 総合犬山中央病院
名古屋記念病院
特定非営利活動法人 春日井明るい社会づくりの会
幡豆工業株式会社
フタバ産業株式会社 本社・岡崎工場
村田機械株式会社 犬山事業所

○金色有功章(献血100回以上) 313名	○金色有功章(20年以上) 12団体
愛知県環境調査センター	愛知県環境調査センター
天理教中村区支部	天理教中村区支部
はびなす	はびなす
パナソニック株式会社 エコソリューションズ社	パナソニック株式会社 エコソリューションズ社
医療法人偕行会 名古屋共立病院	医療法人偕行会 名古屋共立病院
東洋電機株式会社	東洋電機株式会社
大同メタル工業株式会社 犬山事業所	大同メタル工業株式会社 犬山事業所
フタバ産業株式会社 幸田工場	フタバ産業株式会社 幸田工場
新協技研株式会社	新協技研株式会社
大府ライオンズクラブ	大府ライオンズクラブ
知立ライオンズクラブ	知立ライオンズクラブ
瀬戸ライオンズクラブ	瀬戸ライオンズクラブ

○銀色有功章(献血70回以上) 453名	○銀色有功章(15年以上) 9団体
愛知県信用農業協同組合連合会	愛知県信用農業協同組合連合会
株式会社サンゲツ	株式会社サンゲツ
株式会社エバ	株式会社エバ
水野まつり実行委員会	水野まつり実行委員会
認定特定非営利活動法人 あいち骨髄バンクを支援する会	認定特定非営利活動法人 あいち骨髄バンクを支援する会
愛知県花き温室園芸組合連合会 カーネーション部会	愛知県花き温室園芸組合連合会 カーネーション部会
株式会社エルエル	株式会社エルエル
イオンモール株式会社 イオンモール岡崎	イオンモール株式会社 イオンモール岡崎
新城ライオンズクラブ	新城ライオンズクラブ

○支部長感謝状(金枠 10年以上) 18団体
名古屋学芸大学 ユネスコクラブ
名古屋国税局
名古屋中税務署
リゾートトラスト株式会社
株式会社三洋物産
名古屋市中村区 歯科医師会
あいち海部農業協同組合
あいち知多農業協同組合
リョービグループ

東芝ライフスタイル株式会社 愛知事業所
犬山市消防本部
アイシン精機株式会社 新豊工場
アイシン・エイ・ダブリュ株式会社 岡崎工場
株式会社平松食品
株式会社愛知ニコン
一般社団法人 名古屋中村青色申告会
イオンモール株式会社
イオン春日井ショッピングセンター
イオンリテール株式会社 イオンモール扶桑

○支部長感謝状(銀枠 5年以上) 20団体
一般社団法人 生命保険協会 愛知県協会
中日本ハイウェイ・エンジニアリング名古屋株式会社 名古屋支店
トヨタ自動車株式会社 大林地区寮生会
刈谷税務署
株式会社シンテックホズミ
テクノハマ株式会社
小島産業株式会社
愛知県立知立高等学校
愛知信用金庫
岩倉市消防本部
和光純薬工業株式会社 愛知工場
愛知産業大学
プリ・テック株式会社
東陽倉庫株式会社
赤見校下成人学習部
イオンリテール株式会社 イオン守山店
株式会社義津屋名古屋名西店
フィール入場店
ウイングタウン
フィールいつも

(順不同・敬称略)

Actual result

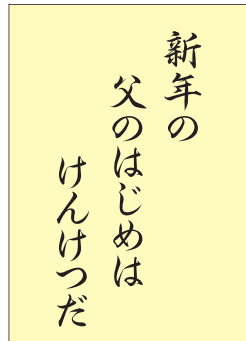
幅広い活動で献血協力を呼びかける。

平成29年度に行った主な活動内容です。
献血協力を呼びかけるキャンペーン活動から血液事業を啓発する活動まで幅広く展開し、血液の確保に向けて広く呼びかけを行いました。

□ 平成29年度日誌 Diary



■第12回「赤十字・いのちと献血」
俳句コンテスト



愛知赤十字血液センター 所長賞
受賞者・名古屋市長立大森小学校5年生
野田 薫平 様

6月「世界献血者デー」キャンペーン
6月23日～10月13日 第12回「赤十字・いのちと献血」俳句コンテスト

June



■サマー献血キャンペーン

5日 サマー献血キャンペーン＜愛知県学生献血連盟＞
[名古屋港水族館JETTY] 献血実績：57名
14～16日 官庁街献血（愛知県庁 西庁舎駐車場）献血実績：482名
10,18,22,23日 夏休み親子血液教室 [武豊・豊橋・瀬戸]
27日 サマー献血キャンペーン豊橋
＜愛知県学生献血連盟 豊橋支部＞ 献血実績：52名

August



■夏休み親子血液教室



■夏休み親子血液教室

12～3月 複数回献血キャンペーン 第2弾
4～12日 愛知県赤十字血液センター開設30周年
献血ありがとうキャンペーン
17日 クリスマス献血キャンペーン
＜愛知県学生献血連盟＞ 献血実績：83名 [栄広場]
24日 クリスマス献血キャンペーン豊橋
＜愛知県学生献血連盟 豊橋支部＞ 献血実績：79名

December



■クリスマス献血キャンペーン



■卒業献血キャンペーン

10日 学生スプリング献血キャンペーン
＜愛知県学生献血連盟＞ [栄広場] 献血実績：65名
26日 春休み親子教室 [岡崎]

March



■第1回「ラブ&ピース献血・骨髄
バンクドナー登録ドリームフェス」

5月14日 第1回
「ラブ&ピース献血・骨髄
バンクドナー登録ドリームフェス」



■愛知県献血運動推進大会

May

28日 愛知県献血運動推進大会
7月 「愛の血液助け合い運動」月間
7月3日～9月15日 献血ポスターコンペティション
7月～11月 複数回献血キャンペーン 第1弾

July



■400mL複数回献血キャンペーン



■第6回 献血ポスター
コンペティション



■7月愛の血液助け合い運動
月刊ポスター



■献血ポスターコンペティション
愛知県赤十字血液センター所長賞
受賞者：愛知県立犬山高等学校
宮川 奈々 様

1日～30日 オータムキャンペーン

November

1月～3月 卒業献血キャンペーン
1月～2月 はたちの献血キャンペーン
13日 はたちの献血キャンペーンイベント
献血実績：44名
9～10日 官庁街献血（愛知県庁 西庁舎駐車場）
献血実績：446名

January

14日～19日 豊田献血ルーム開設20周年
ありがとうキャンペーン

February

3



■愛知県赤十字血液センター開設30周年
献血ありがとうキャンペーン



■はたちの献血キャンペーンイベント

Actual result

新たな歴史を積み重ねて着実な歩み続ける。

昭和37年の開設以来、輸血を必要とする患者さんのため時代とともに、着実な歩みが続けています。

沿革 History

	愛知の動き	全国の動き
1960	昭和37.10 名古屋第一赤十字病院内に愛知県赤十字血液銀行を開設 昭和39.12 愛知県赤十字血液センターと名称を改める 昭和41. 6 採血出張所を開設(豊橋・岡崎・一宮・半田・瀬戸) 昭和43. 1 東海北陸7県(富山県・石川県・福井県・長野県・岐阜県・愛知県・三重県)の調整センターとして保存血液の需給調整を開始 昭和43.11 豊橋採血出張所を廃止し、愛知県赤十字血液センターの支所として新社屋を建設(豊橋市橋良町)。愛知県豊橋赤十字血液センターを開設、業務開始 昭和44. 8 愛知県Ph(一)友の会を結成	昭和27.4 日本赤十字社血液銀行東京業務所開設 昭和31.6 「採血及び供血あっせん業取締法」公布 昭和35.8 「薬事法」公布 昭和39.8 「献血の推進について」閣議決定 昭和44 民間商業血液銀行の買血による輸血用血液の供給中止
1970	昭和45. 4 血液低比重者の諸検査開始 昭和46. 3 日赤愛知県支部との合同庁舎(名古屋市中区三の丸)に移転、業務開始 昭和46. 4 支所として運営されてきた愛知県豊橋赤十字血液センターが豊橋赤十字血液センターとして独立 昭和47. 3 県内の預血業務が全廃され献血一本化となる 昭和48. 4 名古屋市内及び尾張部について輸血用血液の直配開始 昭和49. 4 血液代金自己負担金給付制度実施 昭和52. 4 一宮出張所を廃止し、移動採血車の定期巡回場所に改める 昭和54. 4 採血が瓶採血からビニールバック採血に切替る 昭和54.11 開設以来、献血者150万人達成	昭和49 民間商業血液銀行が預血制度廃止(献血100%体制確立) 昭和50 日本民間放送連盟主催「第1回はたちの献血」キャンペーン開始
1980	昭和57. 2 分室を中区丸の内三丁目5番地10号住友商事丸ノ内ビル9階に新設 昭和57. 4 全国一斉に献血手帳の様式一部改正(供給欄削除) 献血者全員に血液型及び生化学検査結果の通知を開始 昭和57. 6 半田出張所を廃止し、移動採血車の定期巡回場所に改める 昭和59. 4 東海北陸7県(富山県・石川県・福井県・長野県・岐阜県・静岡県・愛知県)の基幹センターとして輸血用血液の需給調整及び技術指導開始 昭和61. 3 事務所棟増築完成(豊橋赤十字血液センター) 昭和61. 4 名古屋市中区錦三丁目22番14号(マルニシビル5階)に栄出張所(献血ルーム)を開設 愛知県学生献血連盟発足 昭和61.10 東三河地域に血小板等の特殊血液のみ直配実施 昭和62. 1 名古屋市熱田区一番に白鳥出張所(献血車基地)を開設 昭和62. 3 瀬戸市南山口町に社屋新築移転、業務開始(愛知県赤十字血液センター) 昭和62. 4 名古屋市中区三の丸旧社屋に三の丸出張所(献血ルーム)を開設 昭和62. 8 西三河部への輸血用血液の直配開始 昭和62. 9 第11回日本血液事業学会総会を愛知県勤労会館で開催 昭和63. 7 輸血用血液の全面直配開始(豊橋赤十字血液センター) 昭和63.10 名古屋市千種区星が丘元町1502番地(第一星ヶ丘ビル2階)に星ヶ丘出張所(献血ルーム)を開設 平成 1. 1 愛知県内の献血者延500万人達成	昭和58.6 日本赤十字社血漿分画事業開始 昭和61.4 「採血及び供血あっせん業取締法」一部改正に伴う新採血基準採用(400mL、成分採血導入) 昭和61 HIV抗体検査及びHTLV-I抗体検査を開始 平成1 HbC抗体、HCV抗体検査開始
1990	平成 2. 3 豊橋市東脇に社屋新築移転、業務開始(豊橋赤十字血液センター) 平成 2. 6 名古屋市中区栄三丁目15番地33号(栄ガスビル9階)に栄出張所(献血ルーム)を移転開設 平成 3. 3 岡崎市康生通西2丁目20番地(シビコ5階)に岡崎出張所(献血ルーム)を開設 平成 3.12 血液センター組織に地方骨髓データセンター設置 平成 4. 6 名古屋市中村区名駅四丁目26番地7号(名駅UFビル5階)に名古屋駅前出張所(献血ルーム)を開設 平成 4.11 赤血球M・A・P「日赤」の調整供給開始(愛知県赤十字血液センター) 平成 5. 4 赤血球M・A・P「日赤」の調整供給開始(豊橋赤十字血液センター) 平成 5.10 三の丸出張所を名古屋市中区白壁一丁目50番地(愛知県白壁庁舎内)に白壁出張所(献血ルーム)として移転開設 平成 6. 1 自己血輸血協力開始 平成 6. 3 愛知県内血液センター需給計画委員会設置 平成 6. 4 輸血用血液への放射線照射協力開始(愛知県赤十字血液センター) 平成 6. 9 輸血用血液への放射線照射協力開始(豊橋赤十字血液センター) 平成 7. 3 第43回日本輸血学会総会を名古屋国際会議場で開催 平成 8.10 白壁出張所の検査部門を愛知県赤十字血液センターに集約 平成 9. 4 東海北陸8県(富山県・石川県・福井県・長野県・岐阜県・静岡県・愛知県・三重県)の基幹センターとして、輸血用血液の需給調整及び技術指導開始豊田市若宮町一丁目57番地1(A館 T-FACE9階)に豊田出張所(献血ルーム)を開設 平成 9. 7 白壁出張所の供給部門を愛知県赤十字血液センターに集約 平成 9.10 白壁出張所の製造部門を愛知県赤十字血液センターに集約 平成11. 4 県内血液センター一体運営開始。これに伴い、豊橋赤十字血液センターを愛知県豊橋赤十字血液センターに改称し、検査業務を愛知センターに集約 刈谷市南桜町一丁目73番地(OTAビル4階)に刈谷出張所(献血ルーム)を開設 平成11. 8 名古屋市熱田区金山町1-202(東和ビル(メガネプラザビル)7階)に金山出張所(献血ルーム)を開設 平成11.11 愛知県赤十字血液センター北館完成	平成2 民間製薬会社による有償採漿中止 平成 4. 1 赤血球M・A・P「日赤」の製造承認許可 平成 5. 8 「自己血輸血協力要綱」作成 平成 7. 4 献血表彰制度の一部改正と献血換算回数変更 平成 7. 7 統一した献血申込書及び問診票導入 平成10. 6 放射線照射輸血用血液が国に認可され供給開始 平成11. 4 血小板成分献血を除き、献血年齢の上限が満64歳から満69歳に引上げ 平成11. 5 献血者情報の全国一元管理システムが稼働 平成11.10 HTLV-I抗体検査結果が異常な場合、希望者への通知を開始。これに伴い献血申込書の内容一部変更 核酸増幅検査(NAT)実施の輸血用血液を供給開始

	愛知の動き	全国の動き
2000	平成12. 3 愛知県赤十字血液センター本館増改築工事完成 平成13. 2 名古屋市中村区名駅三丁目28番地12号(大名古屋ビルヂング3階)に名古屋駅前出張所(大名古屋ビル献血ルーム)を移転開設 第25回日本血液事業学会総会を名古屋国際会議場で開催 平成13. 9 愛知県内の献血者延1,000万人達成 平成15. 2 星ヶ丘出張所(献血ルーム)閉所 平成15. 3 岡崎市明大寺町字寺東1-1(名鉄東岡崎駅南館5階)に岡崎出張所(献血ルーム)を移転開設 第二次全国統一システム稼働 平成16. 6 新鮮凍結血漿貯留保管用冷凍室完成 平成17. 1 愛知県赤十字血液センター献血推進本部設置 平成17. 6 白鳥出張所(献血バス基地)を閉所し、愛知県赤十字血液センターに移動採血部門を集約 愛知県豊橋赤十字血液センターの製造部門を愛知県赤十字血液センターに集約 平成18. 3 複数回献血クラブ「四季桜の会」の設立 平成18. 9 白壁出張所(献血ルーム)の開所 平成18.10 名古屋市中区大須三丁目30-40(大須万松寺ビル1階)に大須出張所(献血ルーム)を開設 岐阜県赤十字血液センターとの検査業務集約 成分採血(血小板)の初流血除去開始 全血採血の初流血除去開始 静岡県赤十字血液センターとの検査業務集約 三重県赤十字血液センターとの検査業務集約 平成19. 2 成分採血(血漿)の初流血除去開始 岐阜県赤十字血液センターとの製剤業務集約 平成19. 5 製剤ラベルの変更 平成20. 1 三重県赤十字血液センターとの製剤業務集約 平成20. 6 成分採血(血漿)の初流血除去開始 平成20. 8 岐阜県赤十字血液センターとの製剤業務集約 平成21. 4 第33回日本血液事業学会総会(第20回国際輸血学会アジア部会併設)を名古屋国際会議場で開催	平成14. 4 HCV抗体陽性者への通知基準の変更 平成14. 7 薬事法及び採血及び供血あっせん業取締法の一部を改正する法律の公布 「安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律」(新血液法)公布 平成14. 8 有償採血の禁止 平成15. 7 「薬事法」の一部改正及び「安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律」(新血液法)施行 平成16. 1 安全対策に対する日本赤十字社の取組み(8項目) 平成16.10 献血受付時の本人確認実施開始 日本赤十字社血液事業本部設置 平成17. 4 改正薬事法施行 平成17. 6 問診による欧州渡航歴の献血制限開始 平成17. 7 6ヵ月以上貯留保管した新鮮凍結血漿「日赤」(FFP)の供給開始 平成18. 3 タッチパネル方式による問診回答方式の導入 成分採血由来新鮮凍結血漿保存前白血球除去製剤製造開始 平成18. 8 人免疫グロブリン製剤「日赤ポリグロビン」販売開始 平成18. 9 成分採血由来新鮮凍結血漿保存前白血球除去製剤出庫開始 平成18.10 献血手帳の磁気カード化開始 平成19. 1 全血採血由来保存前白血球除去製剤製造開始 平成19. 8 全血採血由来保存前白血球除去血漿製剤供給開始 平成19.11 血小板製剤の有効期間(採血後4日間)変更 平成20. 7 初流血除去を実施した成分採血由来製剤新鮮凍結血漿「日赤」(FFP-5)の供給開始 平成21. 3 糖尿病関連の検査(グリコアルブミン検査)開始 平成21.10 血漿分画製剤の販売名、包装表示等の変更 平成22. 1 英国滞在歴に関する献血制限の緩和 平成22. 2 販売名変更代替新規承認品目濃厚血小板-LR「日赤」、濃厚血小板HLA-LR「日赤」、照射濃厚血小板-LR「日赤」、照射濃厚血小板HLA-LR「日赤」の製造・供給開始。 新鮮凍結血漿-LR「日赤」の製造開始。 平成22.12 血液型、生化学検査及び血球計数検査成績の通知対象者の拡充 平成23. 4 採血基準の改正(男性に限り400mL献血が可能な方の年齢の下限を、「18歳」から「17歳」に引き下げ。男性に限り血小板成分献血が可能な方の年齢の上限を、「54歳」から「69歳」に引き上げ。 平成26. 6 血液事業情報システム導入 平成26. 8 特殊製剤国内自給向上対策事業の実施 個別核酸増幅検査(NAT)の導入 平成28. 4 ALT検査による製品除外基準の変更 平成28. 9 照射洗浄血小板-LR「日赤」、照射洗浄血小板HLA-LR「日赤」の供給開始
2010	平成22. 5 第58回日本輸血・細胞治療学会総会を名古屋国際会議場で開催 平成23.10 JRセントラルタワーズ20階に名古屋駅前出張所を移転開設 平成23.11 愛知県赤十字血液センター製造棟完成 平成24. 3 静岡県赤十字血液センターとの製剤業務集約 平成24. 4 広域事業運営体制開始 製造棟施設が東海北陸ブロック血液センターとして業務開始 愛知県豊橋赤十字血液センターを愛知県赤十字血液センター豊橋出張所に改める 県境を越える供給エリアの変更開始(岐阜県東濃地域⇄愛知県西尾張地域) 平成25. 4 豊橋出張所を豊橋事業所に改める 平成26. 4 第50回献血運動推進全国大会を愛知芸術文化センターで開催 平成26. 7 金山出張所と刈谷出張所の閉所 平成29. 4 JRゲートタワー26階に名古屋駅前出張所を拡張	

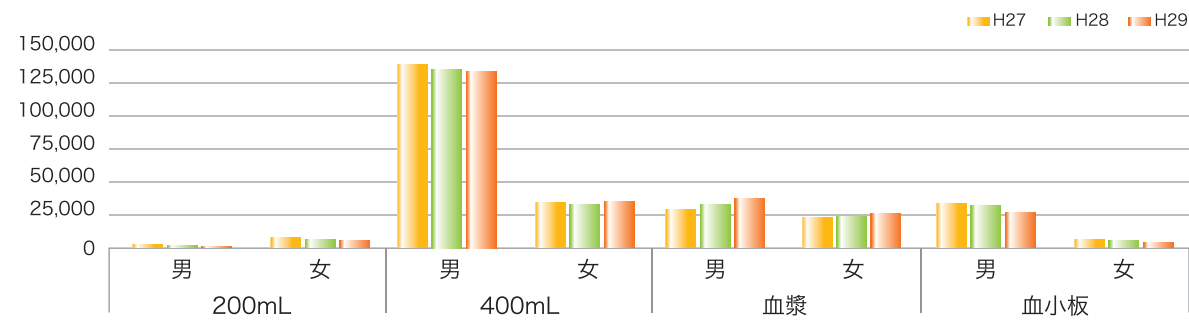
Actual result

□ 献血種別の推移 Blood donation type of transition

3年間で男女種別別での献血者数の推移

	200mL		400mL		血漿		血小板		合 計	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
平成29年度	1,657	5,986	134,305	34,900	37,747	26,214	27,246	4,169	200,955	71,269
平成28年度	1,715	6,360	135,582	33,308	33,216	24,068	31,951	5,719	202,464	69,455
平成27年度	1,993	7,715	139,287	34,706	29,250	22,765	33,826	6,693	204,356	71,879

(人)

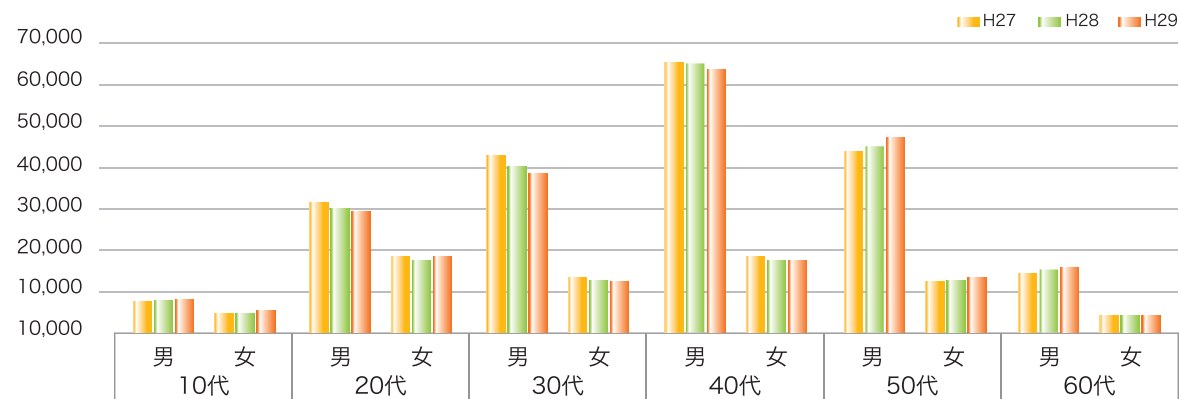


□ 年代別の推移 Transition by age

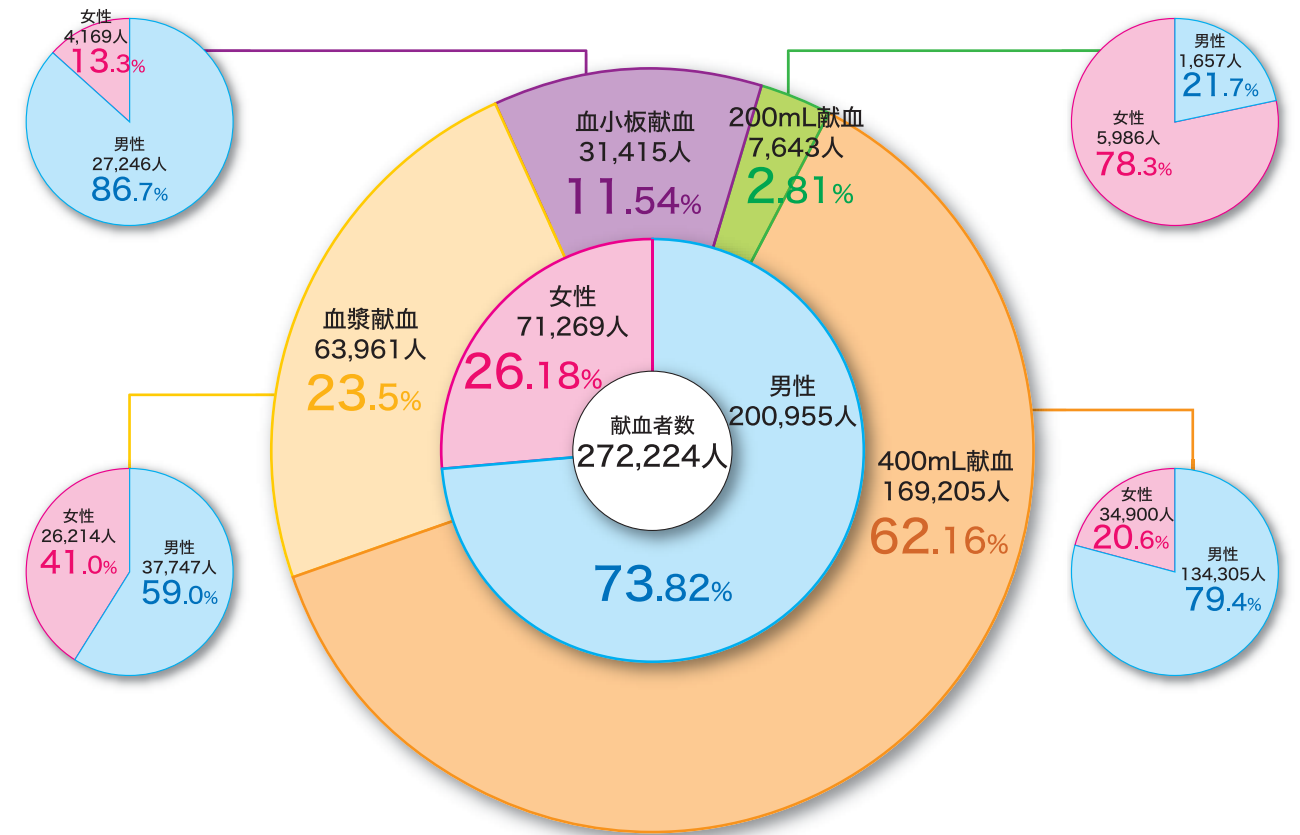
3年間で男女年代別での献血者数の推移

	10代		20代		30代		40代		50代		60代		合 計	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
平成29年度	7,895	5,318	28,984	18,376	38,125	12,329	63,187	17,321	47,115	13,567	15,649	4,358	200,955	71,269
平成28年度	7,739	4,616	29,789	17,641	40,018	12,583	64,744	17,440	44,914	12,793	15,260	4,382	202,464	69,455
平成27年度	7,481	4,671	31,178	18,628	42,643	13,308	64,979	18,348	43,806	12,493	14,269	4,431	204,356	71,879

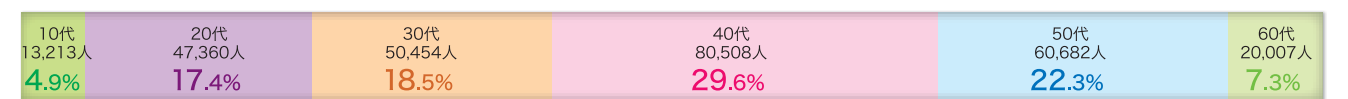
(人)



□ 献血種別献血者数 Blood donation type number of blood donors

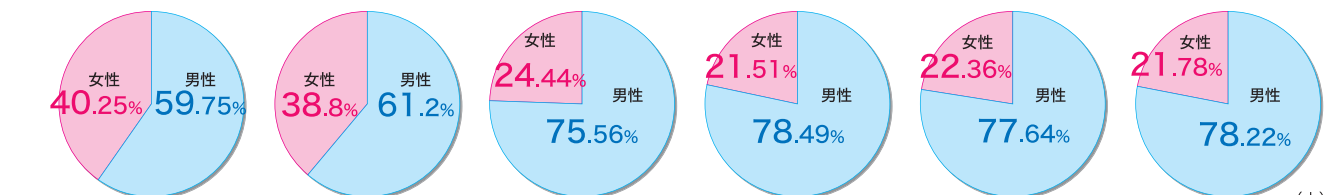


□ 年代別献血者数 Number of blood donors by age



(人)

男性	10代		20代		30代		40代		50代		60代	
	合 計		合 計		合 計		合 計		合 計		合 計	
	7,895		28,984		38,125		63,187		47,115		15,649	
	200mL	781	200mL	260	200mL	129	200mL	214	200mL	191	200mL	82
	400mL	6,174	400mL	21,928	400mL	25,915	400mL	41,328	400mL	29,923	400mL	9,037
	血 漿	612	血 漿	4,148	血 漿	7,108	血 漿	12,046	血 漿	9,871	血 漿	3,962
	血小板	328	血小板	2,648	血小板	4,973	血小板	9,599	血小板	7,130	血小板	2,568

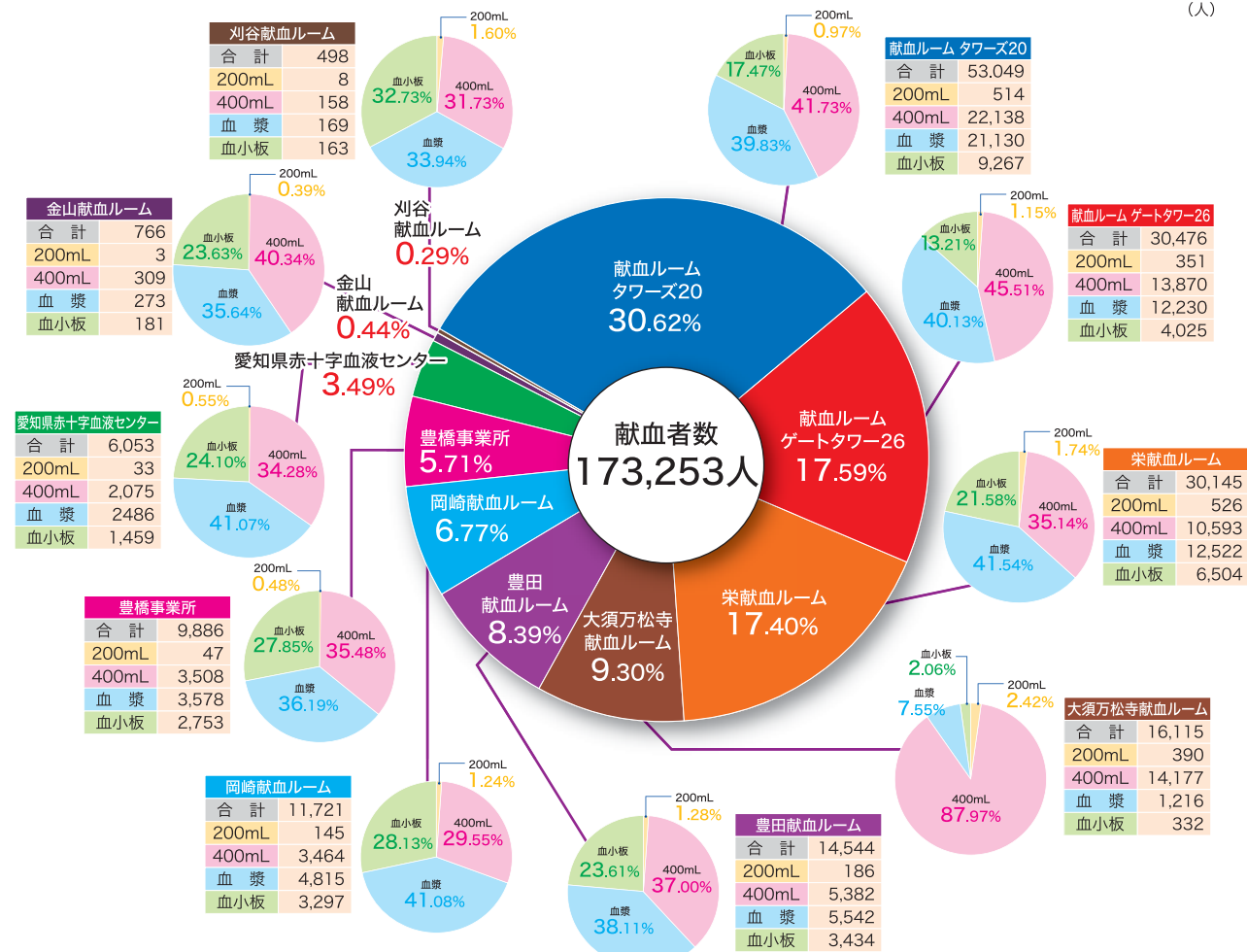


(人)

女性	10代		20代		30代		40代		50代		60代	
	合 計		合 計		合 計		合 計		合 計		合 計	
	5,318		18,376		12,329		17,321		13,567		4,358	
	200mL	1,802	200mL	1,310	200mL	761	200mL	1,064	200mL	819	200mL	230
	400mL	2,126	400mL	8,381	400mL	5,637	400mL	9,289	400mL	7,181	400mL	2,286
	血 漿	1,286	血 漿	7,652	血 漿	4,961	血 漿	5,538	血 漿	4,935	血 漿	1,842
	血小板	104	血小板	1,033	血小板	970	血小板	1,430	血小板	632	血小板	0

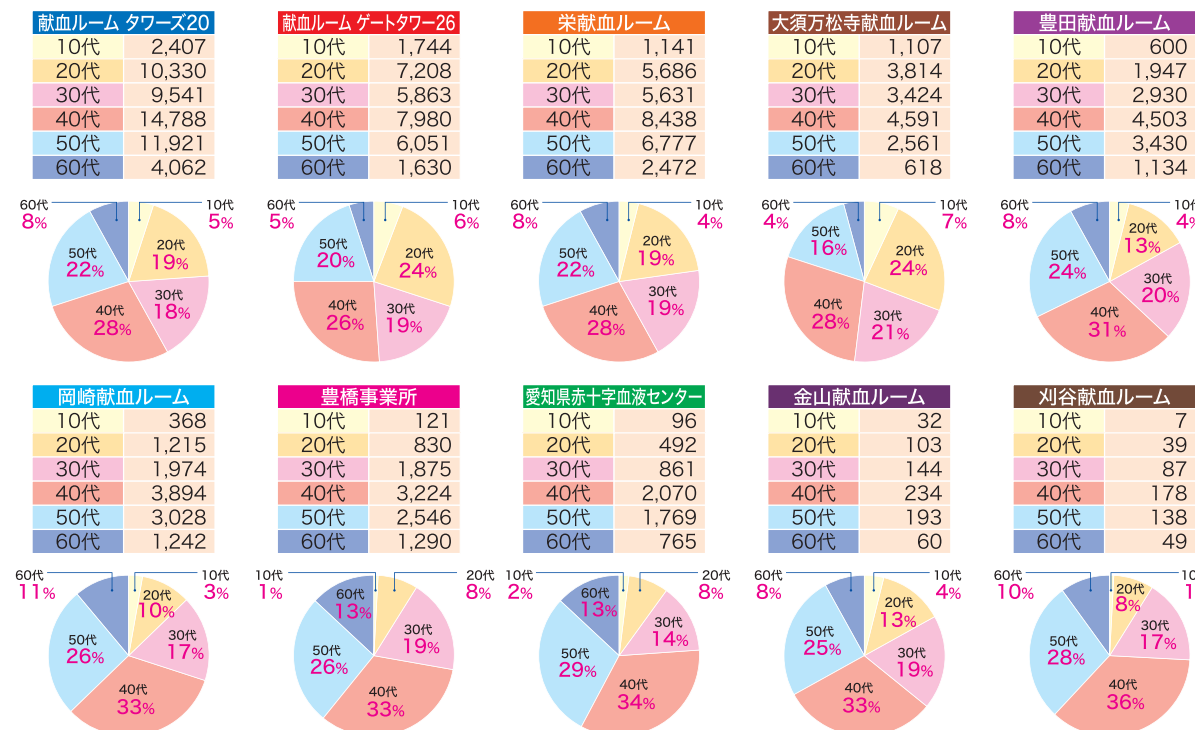
Number of blood donors by blood donation room

(人)



Number of blood donors by age

(人)



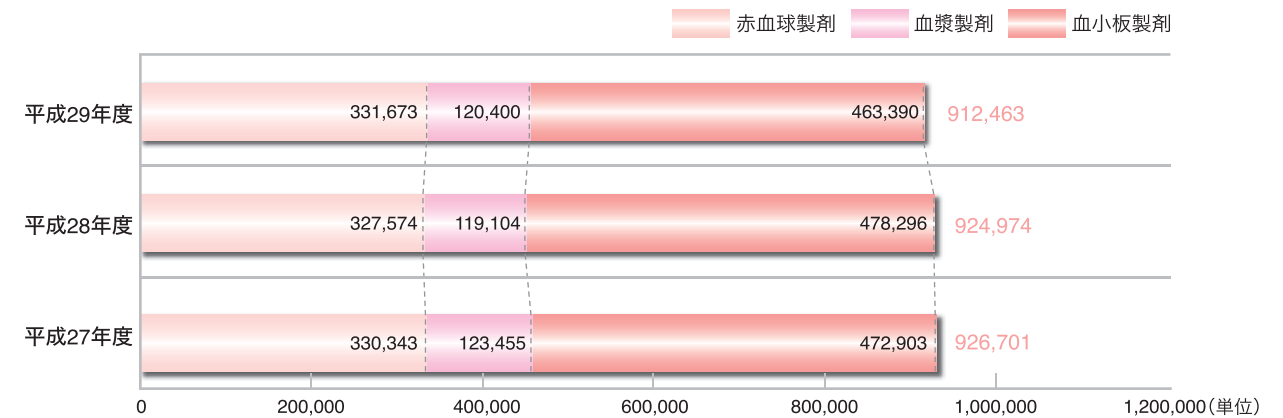
医療機関では必要な成分だけを輸血に使用するため、成分製剤(赤血球、血漿、血小板)の供給が主流となっています。

Supply of Blood Products

(单位)

	赤血球製剤	血漿製剤	血小板製剤	合 計
平成29年度	331,673	120,400	460,390	912,463
平成28年度	327,574	119,104	478,296	924,974
平成27年度	330,343	123,455	472,903	926,701

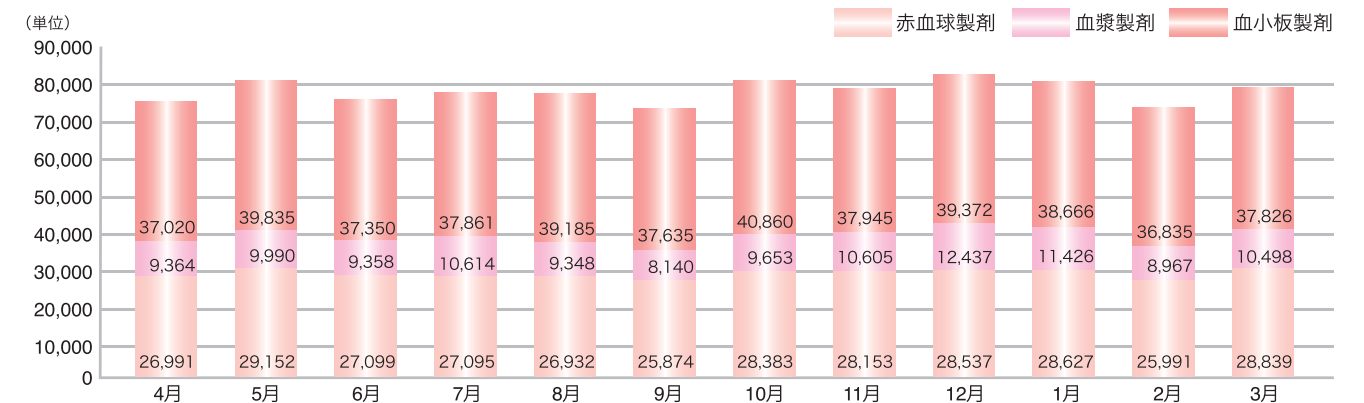
(单位)



(単位)

	合計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
赤血球製剤	331,673	26,991	29,152	27,099	27,095	26,932	25,874	28,383	28,153	28,537	28,627	25,991	28,839
血漿製剤	120,400	9,364	9,990	9,358	10,614	9,348	8,140	9,653	10,605	12,437	11,426	8,967	10,498
血小板製剤	460,390	37,020	39,835	37,350	37,861	39,185	37,635	40,860	37,945	39,372	38,666	36,835	37,826
合計	912,463	73,375	78,977	73,807	75,570	75,465	71,649	78,896	76,703	80,346	78,719	71,793	77,163

(単位)



- ・本年度の全血製剤の供給はありませんでした。
- ・他センターへの需給調整本数は含まない。
- ・単位換算数：赤血球製剤は200mL献血由来を1単位、400mL献血由来を2単位として換算したもの。
血漿製剤は200mL献血由来を1単位、400mL献血由来を2単位、成分献血由来を4単位として換算したもの。
血小板製剤は規格により、1単位、2単位、5単位、10単位、15単位、20単位として換算したもの。
- ・血漿製剤の換算方は平成29年度から変更したため、平成28年度、平成27年度も現在の基準で数値が変更されます。

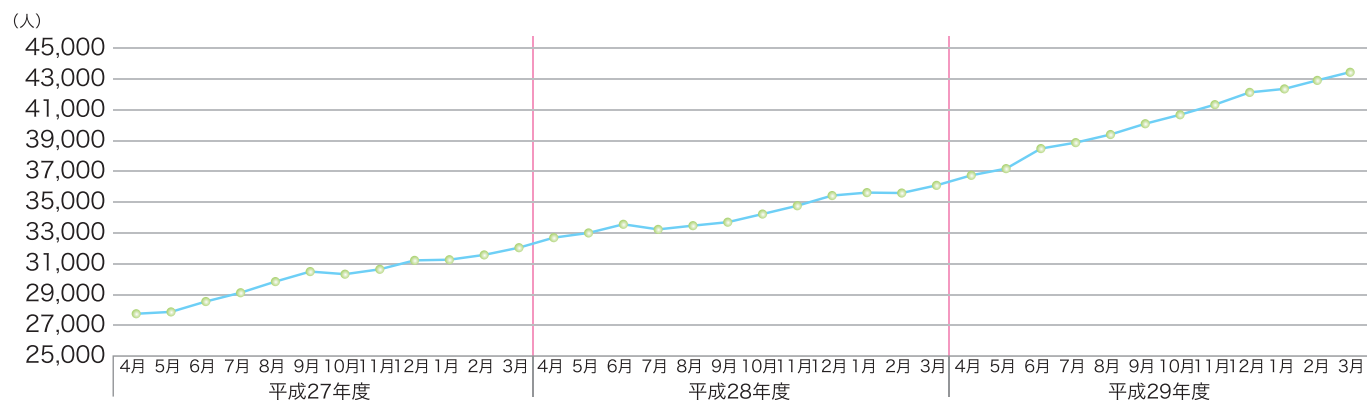
Actual result

活動実績

□ 複数回献血クラブ Multiple blood donation club

輸血を必要とされる患者の方々は、春夏秋冬の区別なく血液が必要となります。そのため、一年を通じて常に安全な血液を安定的に確保することが求められます。安定確保をするために、複数回にわたり献血のご協力をいただける複数回献血クラブの会員が必要です。登録をいただいた会員の皆さまには、メールや会報を通じて献血依頼や各種ご案内をさせていただきます。

3年間の会員登録者数の推移(愛知県赤十字血液センター登録者数)



※エラー会員や検索日によって、該当月の会員増加数が総会員数の増加数と多少異なることがあります。

平成30年3月末で43,467名

複数回献血クラブ会員限定イベント

複数回献血クラブ会員限定のイベントを定期的に行っております。

イベント実施内容

実施年月日	実施内容
平成29年 6月 3日	献血セミナーと血液センター見学
平成29年 7月23日	ヨガで夏バテ予防
平成29年 8月27日	ヨガ教室
平成29年 9月24日	チャンドラ先生のカレー作りと講演会
平成29年10月29日	ピラティス教室
平成30年 1月27日	スマホカメラ塾
平成30年 3月11日	救急法講習会



ピラティス教室



スマホカメラ塾



献血セミナーと血液センター見学

登録は
こちら
から



Blood Centers in Japan

全国の血液センター

血液センターは全国各都道府県にあります。また全国を7つに分けて各ブロックを形成し、センター間での供給や情報交換を行い、地域に根ざした活動を行っています。

全国の血液センター

血液製剤を不足なくお届けするための 全国のネットワーク。

日本赤十字社が血液事業を推進するために、全国に血液センターが整備されています。また各ブロックセンターでは、検査・製剤・需給管理部門の業務を行っています。

- 日本赤十字社 血液事業本部(1) (平成30年3月31日現在)
- 中央血液研究所(1)

- ブロック血液センター(7)

- 地域血液センター(47)

